

議 会 年 報

令和 5 年議会活動状況

町 田 市 議 会 事 務 局

目次

1. 議会の構成	5
(1) 組織	5
(2) 委員の構成	6
イ. 常任委員会	6
ロ. 議会運営委員会	6
ハ. 特別委員会	7
ニ. 法外委員会	7
(3) 議員	8
2. 議会費	9
3. 会議の概要	11
(1) 令和5年本会議開催状況	11
(2) 審議の結果	12
(3) 市長提出議案	13
(4) 議員提出議案	19
(5) 委員会提出議案	20
(6) 可決した意見書・決議	21
(7) 請願	54
(8) 陳情	55
(9) 質疑の通告内容	56
(10) 一般質問の内容	80
4. 委員会の概要	92
(1) 各委員会の開催状況	92
5. その他の会議の概要	92
(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況	92
6. 会議の傍聴者	93
(1) 令和5年傍聴者数	93
7. 視察受入団体一覧	94
8. 会期外の主な動き	97
9. 資料	110
(1) 歴代の正・副議長	110

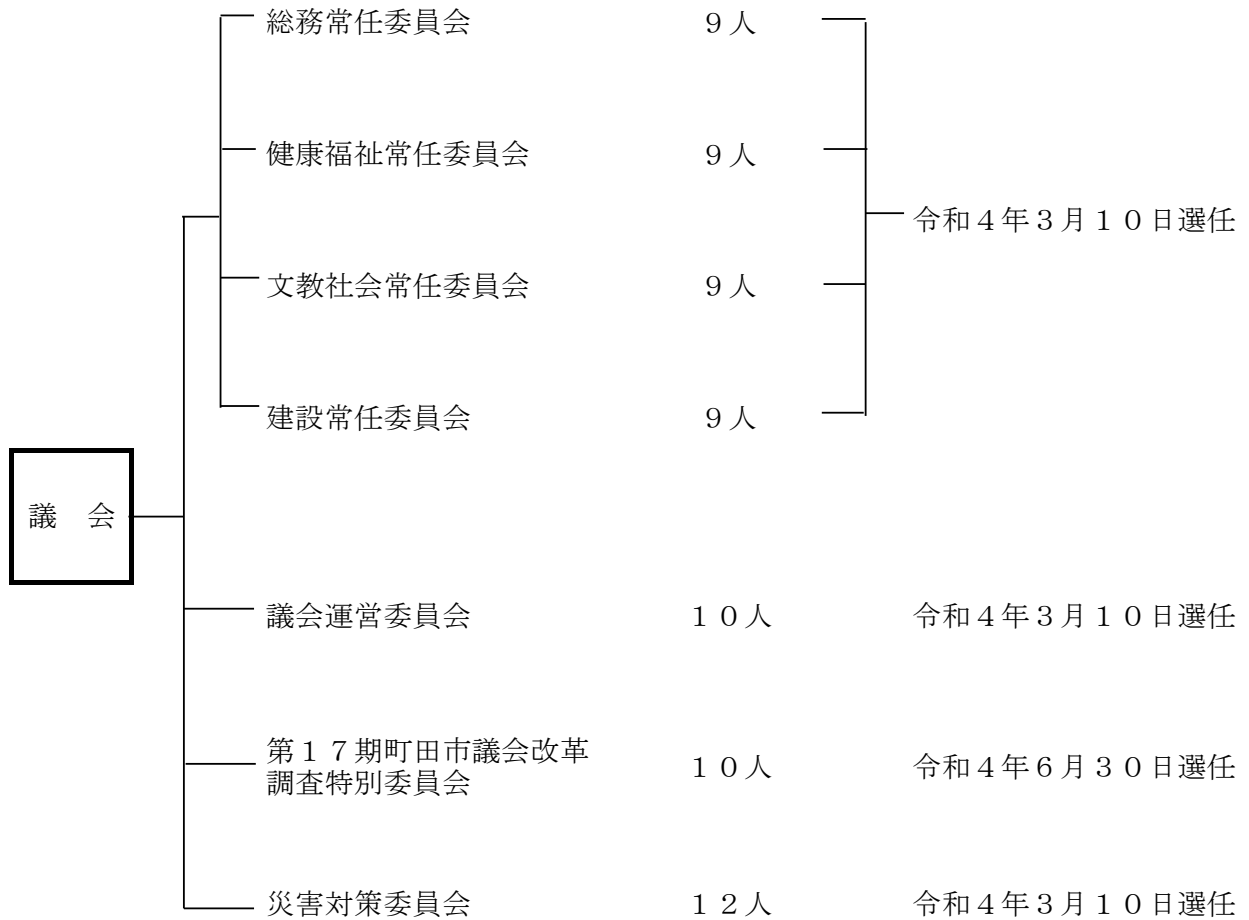
(2) 歴代の正・副常任委員長	113
(3) 歴代の正・副議会運営委員長	115
(4) 歴代の正・副特別委員長	116
(5) 歴代の正・副法外委員長	122
(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧	124
(7) 議員の期末手当率一覧	125
(8) 議会事務局組織	126

1. 議会の構成

(1) 組織

議長 戸塚正人
令和4年3月9日選出

副議長 いわせ和子
令和4年3月9日選出



(2) 委員の構成

令和5年12月31日現在

イ. 常任委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
総務 定数 9人	◎ おんじょう由久 ○ 白川哲也 渡辺さとし 加藤真彦 三遊亭らん丈 戸塚正人 おく栄一 熊沢あやり 殿村健一		
健康福祉 定数 9人	◎ 石川好忠 ○ 森本せいや 秋田しづか 小野りゅうじ いわせ和子 佐々木智子 おげき重太郎 吉田つとむ 山下てつや		
文教社会 定数 9人	◎ 東友美 ○ 新井よしなお 笹倉みどり 木目田英男 矢口まゆ 松葉ひろみ 田中美穂 今村るか 藤田学		
建設 定数 9人	◎ 渡辺巖太郎 ○ 村まつ俊孝 小野寺まなぶ 中川幸太郎 佐藤和彦 松岡みゆき 若林章喜 細野龍子 佐藤伸一郎		

ロ. 議会運営委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
議会運営 定数 10人	◎ 山下てつや ○ 佐藤和彦 木目田英男 加藤真彦 東友美 松葉ひろみ 白川哲也 田中美穂 三遊亭らん丈 新井よしなお	渡辺さとし 委員辞任 (23. 4. 1)	加藤真彦 委員就任 (23. 4. 1)

ハ. 特別委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
第17期町田市 議会改革調査 定数 10人	◎ 今村るか ○ 村まつ俊孝 木目田英男 加藤真彦 森本せいや 白川哲也 田中美穂 新井よしなお 山下てつや 藤田学	秋田しづか	委員辞任 (23.4.1) 委員就任 (23.4.1)

令和4年6月30日設置

ニ. 法外委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
災害対策 定数 12人	◎ 今村るか ○ 佐々木智子 村まつ俊孝 木目田英男 渡辺巖太郎 加藤真彦 石川好忠 東友美 おんじょう由久 いわせ和子 戸塚正人 吉田つとむ		

(3) 議員 (令和4年2月20日選挙 定数36人)

◎委員長 ○副委員長 △委員

令和5年12月31日現在

議席番号	氏名	所属党派	常任委員会				議会運営	特別委員会	災害対策	年齢	議員歴
			総務	健康福祉	文教社会	建設		議会第17期改革町田市調査			
1	秋田 しづか	諸派		△					43	1	
2	渡辺 さとし	まちだ市民クラブ	△						44	1	
3	小野 りゅうじ	まちだ市民クラブ		△					46	1	
4	笹倉 みどり	まちだ市民クラブ			△				50	1	
5	小野寺 まなぶ	公明党				△			53	1	
6	村まつ 俊孝	公明党				○		○ △	45	2	
7	木目田 英男	選ばれる町田をつくる会			△		△	△ △	49	3	
8	渡辺 巖太郎	選ばれる町田をつくる会				◎		△	50	4	
9	中川 幸太郎	諸派				△			32	1	
10	矢口 まゆ	諸派			△				34	2	
11	加藤 真彦	自由民主党	△				△	△ △	36	1	
12	石川 好忠	自由民主党		◎				△	69	3	
13	佐藤 和彦	まちだ市民クラブ				△	○		51	4	
14	森本 せいや	まちだ市民クラブ		○				△	42	4	
15	東 友美	まちだ市民クラブ			◎		△	△	39	2	
16	松岡 みゆき	無所属				△			62	4	
17	おんじょう 由久	公明党	◎					△	61	2	
18	松葉 ひろみ	公明党			△		△		57	3	
19	白川 哲也	選ばれる町田をつくる会	○				△	△	42	4	
20	いわせ 和子	選ばれる町田をつくる会		△				△	60	5	
21	田中 美穂	日本共産党			△		△	△	41	2	
22	佐々木 智子	日本共産党		△				○	68	6	
23	おぜき 重太郎	諸派		△					47	3	
24	三遊亭 らん丈	自由民主党	△				△		64	5	
25	戸塚 正人	まちだ市民クラブ	△					△	43	5	
26	今村 るか	まちだ市民クラブ			△			◎ ◎	55	5	
27	新井 よしなお	無所属			○		△	△	49	6	
28	吉田 つとむ	無所属		△				△	75	8	
29	山下 てつや	公明党		△			◎	△	58	5	
30	おく 栄一	公明党	△						69	5	
31	若林 章喜	選ばれる町田をつくる会				△			49	6	
32	熊沢 あやり	諸派	△						52	6	
33	細野 龍子	日本共産党				△			68	7	
34	殿村 健一	日本共産党	△						69	9	
35	藤田 学	自由民主党			△			△	54	6	
36	佐藤 伸一郎	自由民主党				△			67	6	

2. 議会費

令和5年度（2023年度） 会計別予算構成表

(単位：千円)

区 分	2 0 2 3 年 度		2 0 2 2 年 度		比 較			
	予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	増 減 額	増 減 率 (%)		
一 般 会 計	168,426,481	56.1	162,263,396	55.4	6,163,085	3.8		
特 別 会 計	国民健康保険 事業会計	42,246,889	14.0	42,767,626	14.6	△ 520,737	△ 1.2	
	介護保険 事業会計	38,756,050	12.9	37,791,431	12.9	964,619	2.6	
	後期高齢者医療 事業会計	13,418,061	4.5	12,794,809	4.4	623,252	4.9	
	鶴川駅南土地地区画整理 事業会計	434,064	0.1	142,709	0.0	291,355	204.2	
	下水道事業会計		19,284,474	6.4	19,557,138	6.7	△ 272,664	△ 1.4
		収益的	12,084,916	4.0	12,114,053	4.1	△ 29,137	△ 0.2
		資本的	7,199,558	2.4	7,443,085	2.6	△ 243,527	△ 3.3
	病院事業会計		17,850,132	6.0	17,476,986	6.0	373,146	2.1
		収益的	16,174,706	5.4	15,701,016	5.4	473,690	3.0
		資本的	1,675,426	0.6	1,775,970	0.6	△ 100,544	△ 5.7
	小 計	131,989,670	43.9	130,530,699	44.6	1,458,971	1.1	
	合 計	300,416,151	100.0	292,794,095	100.0	7,622,056	2.6	

令和5年度（2023年度）一般会計歳出予算目的別内訳書

款	2023年度予算額	2022年度予算額	比較	構成比 (%)
1. 議会費	652,524	641,801	10,723	0.4
2. 総務費	17,871,095	17,764,891	106,204	10.7
3. 民生費	89,047,736	85,994,285	3,053,451	52.9
4. 衛生費	15,566,474	15,080,297	486,177	9.2
5. 労働費	37,810	50,659	△12,849	0.0
6. 農林費	348,473	317,507	30,966	0.2
7. 商工費	1,179,730	2,268,939	△1,089,209	0.7
8. 土木費	15,722,196	14,466,337	1,255,859	9.3
9. 消防費	4,909,618	5,014,866	△105,248	2.9
10. 教育費	15,223,936	13,346,015	1,877,921	9.0
11. 災害復旧費	6	6	0	0.0
12. 公債費	7,766,883	7,217,793	549,090	4.6
13. 予備費	100,000	100,000	0	0.1
歳出合計	168,426,481	162,263,396	6,163,085	100.0

3. 会議の概要

(1) 令和5年本会議開催状況

区 分	第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第1回 臨時会	第4回 定例会	計		
開会月日	2月21日	6月5日	8月29日	11月10日	11月29日			
閉会月日	3月29日	6月28日	9月29日	11月10日	12月22日			
会期	37日	24日	32日	1日	24日	118日		
会議日数	9日	8日	8日	1日	8日	34日		
議 案	予 算	14	2	8	1	5	30	
	条 例	市 長	18	7	10	0	10	45
		委 員 会	1	1	0	0	0	2
		議 員	1	0	0	0	0	1
	議 決 案	14	6	23	1	13	57	
	承 認	1	5	1	1	0	8	
	認 定	0	0	3	0	0	3	
	同 意	2	0	2	0	1	5	
	諮 問	0	0	0	0	0	0	
	会 議 規 則	1	0	0	0	0	1	
	意 見 書	委 員 会	0	0	0	0	0	0
		議 員	7	7	6	0	7	27
	決 議	委 員 会	0	0	0	0	0	0
		議 員	0	0	0	0	0	0
	請 願	6	5	5	0	5	21	
陳 情	1	1	1	0	2	5		

(2) 審議の結果

議決の内容		第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第1回 臨時会	第4回 定例会	計
市長提出	可 決	49	20	47	3	29	148
	修正可決	0	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0
	異議のない旨 答申	0	0	0	0	0	0
議員提出	可 決	7	3	5	0	4	19
	修正可決	0	0	0	0	0	0
	否 決	1	4	1	0	3	9
	撤 回	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0
委員会提出	可 決	2	1	0	0	0	3
	修正可決	0	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0
請願	採 択	0	0	2	0	0	2
	一部採択	0	0	0	0	0	0
	不採択	6	5	2	0	5	18
	継続審査	0	0	1	0	0	1
	取り下げ	0	0	0	0	0	0
陳情	採 択	0	0	0	0	0	0
	一部採択	0	0	0	0	0	0
	不採択	0	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0	0
	取り下げ	0	0	0	0	0	0
	参考送付	1	1	1	0	2	5

(3) 市長提出議案

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
1	令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第7号)	2月21日	総務 健康福祉 文教社会 建設	2月22日	原案可決
2	令和4年度(2022年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	2月21日	健康福祉	2月22日	原案可決
3	令和4年度(2022年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第2号)	2月21日	健康福祉	2月22日	原案可決
4	令和4年度(2022年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	2月21日	健康福祉	2月22日	原案可決
5	令和4年度(2022年度)町田市下水道事業会計補正予算(第2号)	2月21日	建設	2月22日	原案可決
6	令和4年度(2022年度)町田市病院事業会計補正予算(第1号)	2月21日	健康福祉	2月22日	原案可決
7	令和5年度(2023年度)町田市一般会計予算	3月6日	総務 健康福祉 文教社会 建設	3月29日	原案可決
	令和5年度(2023年度)町田市一般会計予算に対する修正案(芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム推進事業のうち、(仮称)国際工芸美術館整備費等及び都市公園費等を修正)	省略	省略	3月29日	否決
	令和5年度(2023年度)町田市一般会計予算に対する修正案(芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム推進事業のうち、(仮称)国際工芸美術館整備費等を修正)	省略	省略	3月29日	否決
8	令和5年度(2023年度)町田市国民健康保険事業会計予算	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
9	令和5年度(2023年度)町田市介護保険事業会計予算	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
10	令和5年度(2023年度)町田市後期高齢者医療事業会計予算	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
11	令和5年度(2023年度)町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計予算	3月6日	建設	3月29日	原案可決
12	令和5年度(2023年度)町田市下水道事業会計予算	3月6日	建設	3月29日	原案可決
13	令和5年度(2023年度)町田市病院事業会計予算	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
14	町田市性の多様性の尊重に関する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
15	町田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	3月6日	総務	3月29日	原案可決
16	町田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
17	町田市営住宅条例の一部を改正する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
18	町田市手数料条例の一部を改正する条例	3月6日	総務	3月29日	原案可決
19	町田市避難行動要支援者の名簿情報の提供に関する条例	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
20	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
21	子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
22	町田市子ども発達センター条例の一部を改正する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
23	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
24	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
25	町田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
26	町田市道における道路構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
27	町田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
28	町田市立公園条例の一部を改正する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
29	町田市忠生公園自然観察センター条例を廃止する条例	3月6日	建設	3月29日	原案可決
30	町田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	健康福祉	3月29日	原案可決
31	香山緑地既存建物耐震改修他工事請負契約	3月6日	建設	3月29日	原案可決
32	旧忠生第六小学校解体工事請負契約の変更契約	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
33	忠生630号線（第二期）道路改良工事（その4）請負契約の変更契約	3月6日	建設	3月29日	原案可決
34	普通財産の貸付について	省略	省略	2月21日	原案可決
35	鶴川駅南北自由通路の整備に関する施行協定	3月6日	建設	3月29日	原案可決
36	鶴川駅改良事業の工事に関する施行協定	3月6日	建設	3月29日	原案可決
37	損害賠償の額の決定について	省略	省略	2月21日	原案可決
38	市道路線の認定について	3月6日	建設	3月29日	原案可決
39	市道路線の廃止について	3月6日	建設	3月29日	原案可決
40	包括外部監査契約の締結について	3月6日	総務	3月29日	原案可決
41	指定金融機関の指定について	省略	省略	2月22日	原案可決
42	町田市表彰条例に基づく一般表彰の同意方について	3月6日	総務	3月29日	原案可決
43	権利の放棄について	省略	省略	2月21日	原案可決
44	町田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	3月6日	総務	3月29日	原案可決
45	（仮称）町田市中学校給食センター整備・運営事業契約	3月6日	文教社会	3月29日	原案可決
46	町田市教育委員会委員の任命につき同意方について	省略	省略	3月29日	同意
47	町田市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意方について	省略	省略	3月29日	同意
48	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第1号）	3月29日	健康福祉	3月29日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
49	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第2号）	6月5日	健康福祉建設	6月5日	原案可決
50	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第3号）	6月15日	総務健康福祉文教社会建設	6月28日	原案可決
51	町田市手数料条例の一部を改正する条例	6月15日	総務	6月28日	原案可決
52	町田市市税条例の一部を改正する条例	6月15日	総務	6月28日	原案可決
53	町田市印鑑条例の一部を改正する条例	6月15日	文教社会	6月28日	原案可決
54	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	6月15日	文教社会	6月28日	原案可決
55	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	6月15日	文教社会	6月28日	原案可決
56	町田市地区計画の区域内における建築物の制限等に関する条例の一部を改正する条例	6月15日	建設	6月28日	原案可決
57	町田市立公園条例の一部を改正する条例	6月15日	建設	6月28日	原案可決
58	学校用大型提示装置（プロジェクタ）購入	省略	省略	6月5日	原案可決
59	児童生徒用タブレット端末購入	省略	省略	6月5日	原案可決
60	土地の買入れについて	省略	省略	6月5日	原案可決
61	住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法	6月15日	建設	6月28日	原案可決
62	町区域の新設及び変更	6月15日	総務	6月28日	原案可決
63	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業に関する施設整備工事請負契約の変更契約について	6月15日	建設	6月28日	原案可決
64	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第4号）	8月29日	文教社会	8月29日	原案可決
65	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第5号）	9月8日	総務健康福祉文教社会建設	9月29日	原案可決
66	令和5年度（2023年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
67	令和5年度（2023年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第1号）	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
68	令和5年度（2023年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
69	令和5年度（2023年度）町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計補正予算（第1号）	9月8日	建設	9月29日	原案可決
70	令和5年度（2023年度）町田市下水道事業会計補正予算（第1号）	9月8日	建設	9月29日	原案可決
71	町田市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	総務	9月29日	原案可決
72	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	9月8日	総務	9月29日	原案可決
73	町田市鶴川緑の交流館条例の一部を改正する条例	9月8日	文教社会	9月29日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
74	町田市プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
75	町田市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
76	町田市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
77	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	文教社会	9月29日	原案可決
78	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例	8月29日	文教社会	8月29日	原案可決
79	町田市営住宅条例の一部を改正する条例	9月8日	建設	9月29日	原案可決
80	町田市立公園条例の一部を改正する条例	9月8日	建設	9月29日	原案可決
81	消防ポンプ自動車購入	省略	省略	8月29日	原案可決
82	小山田蓮田緑地整備工事請負契約	9月8日	建設	9月29日	原案可決
83	市道路線の認定について	9月8日	建設	9月29日	原案可決
84	市道路線の廃止について	9月8日	建設	9月29日	原案可決
85	町田市立総合体育館外3施設の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月29日	原案可決
86	町田市わさびだ療育園の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
87	町田市大賀藕絲館の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
88	ふれあい桜館の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
89	小山田高齢者在宅サービスセンター外1箇所の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
90	デイサービス森野の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
91	玉川学園高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
92	本町田高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
93	デイサービス忠生の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
94	デイサービス三輪の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
95	デイサービス榛名坂の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
96	デイサービス高ヶ坂の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
97	デイサービスあいはらの指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
98	わくわくプラザ町田の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
99	休日・準夜急患こどもクリニックの指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
100	休日応急歯科・障がい者歯科診療所の指定管理者の指定について	9月8日	健康福祉	9月29日	原案可決
101	町田市自然休暇村の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月29日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
102	町田市子ども創造キャンパスひなた村の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月29日	原案可決
103	町田市ふるさと農具館の指定管理者の指定について	9月8日	総務	9月29日	原案可決
104	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第6号）	9月29日	総務	9月29日	原案可決
105	町田市監査委員の選任につき同意方について	省略	省略	9月29日	同意
106	人権擁護委員候補者の推薦につき同意方について	省略	省略	9月29日	同意
107	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第7号）	11月10日	文教社会 建設	11月10日	原案可決
108	町田市立陸上競技場ナイター照明設備改修工事請負契約	11月10日	建設	11月10日	原案可決
109	令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第8号）	12月11日	総務 健康福祉 文教社会 建設	12月22日	原案可決
110	令和5年度（2023年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
111	令和5年度（2023年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第2号）	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
112	令和5年度（2023年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
113	公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	総務	12月22日	原案可決
114	町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	総務	12月22日	原案可決
115	町田市高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
116	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
117	町田市子どもにやさしいまち条例	12月11日	文教社会	12月22日	原案可決
118	町田市空家等の発生の予防、適切な管理及び活用の促進に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	建設	12月22日	原案可決
119	町田市民病院使用条例の一部を改正する条例	12月11日	健康福祉	12月22日	原案可決
120	東京都公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都公平委員会共同設置規約の変更について	省略	省略	11月29日	原案可決
121	町田市一般廃棄物指定収集袋購入（単価契約）	省略	省略	11月29日	原案可決
122	忠生630号線（第二期）道路改良工事（その4）請負契約の変更契約	12月11日	建設	12月22日	原案可決
123	相模原市道宮上横山（相模原都市計画道路3・4・6号 宮上横山線）及び町田市道堺957号線（町田都市計画道路3・4・41号ニュータウン幹線）の橋の新設に伴う上部工事に関する協定の変更協定	12月11日	建設	12月22日	原案可決
124	児童扶養手当返還金等に係る訴訟の提起について	省略	省略	11月29日	原案可決
125	成瀬中央あおぞら学童保育クラブ外7施設の指定管理者の指定について	12月11日	文教社会	12月22日	原案可決
126	藤の台ポケット組学童保育クラブの指定管理者の指定について	12月11日	文教社会	12月22日	原案可決
127	小山田学童保育クラブ外1施設の指定管理者の指定について	12月11日	文教社会	12月22日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
128	相原中央公園外24施設の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月22日	原案可決
129	香山緑地外9施設の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月22日	原案可決
130	野津田公園外11施設の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月22日	原案可決
131	町田中央公園外4施設の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月22日	原案可決
132	忠生公園外739施設の指定管理者の指定について	12月11日	建設	12月22日	原案可決
133	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	総務	12月22日	原案可決
134	町田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	総務	12月22日	原案可決
135	町田市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	12月11日	総務	12月22日	原案可決
136	令和5年度(2023年度)町田市一般会計補正予算(第9号)	12月22日	健康福祉	12月22日	原案可決
137	人権擁護委員候補者の推薦につき同意方について	省略	省略	12月22日	同意

報告1	令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(専決第3号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月21日	承認
報告2	令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(専決第4号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月5日	承認
報告3	町田市市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月5日	承認
報告4	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月5日	承認
報告5	令和5年度(2023年度)町田市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月5日	承認
報告6	証明書の誤交付に係る損害賠償額の決定について	省略	省略	6月5日	承認
報告7	生活衛生課車両による物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	8月29日	承認
報告8	薬師池北ふるさとの森における物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	11月10日	承認

認定1	令和4年度(2022年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	9月8日	総務 健康福祉 文教社会 建設	9月29日	認定
認定2	令和4年度(2022年度)町田市下水道事業会計決算認定について	9月8日	建設	9月29日	認定
認定3	令和4年度(2022年度)町田市病院事業会計決算認定について	9月8日	健康福祉	9月29日	認定

(4) 議員提出議案等

議案番号	件名	議決月日	結果
1	町田市議会の個人情報の保護に関する条例	2月22日	原案可決
2	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書	3月29日	原案可決
3	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	3月29日	原案可決
4	地域のグリーントランスフォーメーション（GX）の促進を求める意見書	3月29日	原案可決
5	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書	3月29日	原案可決
6	東京都が行う福祉・介護の専門職育成に関わる制度の充実を求める意見書	3月29日	否決
7	「LGBT理解増進法案」に差別禁止規定を求める意見書	3月29日	原案可決
8	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書	3月29日	原案可決
9	薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書	6月28日	原案可決
10	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	6月28日	原案可決
11	公共施設等適正管理推進事業(除却事業)における財政支援の拡充を求める意見書	6月28日	原案可決
12	マイナ保険証トラブルの全容解明と現行保険証の存続を求める意見書	6月28日	否決
13	都立学校の小中学生に対し給食無償化を求める意見書	6月28日	否決
14	生活保護の夏季加算の制度化を早急に求める意見書	6月28日	否決
15	児童手当の財源として扶養控除の縮小、廃止をしないよう求める意見書	6月28日	否決
16	旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する幅広い救済を求める意見書	9月29日	可決
17	ALPS処理水の海洋放出中止を求める意見書	9月29日	否決
18	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	9月29日	可決
19	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書	9月29日	可決
20	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	9月29日	可決
21	018サポートの給付金を生活保護の収入認定から除外するよう調整することを求める意見書	9月29日	可決
22	認知症との共生社会の実現を求める意見書	12月22日	原案可決
23	食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書	12月22日	原案可決
24	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	12月22日	原案可決

議案番号	件名	議決月日	結果
25	パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める意見書	12月22日	原案可決
26	企業・団体献金及び企業・団体による政治資金パーティー券購入の禁止を求める意見書	12月22日	否決
27	オスプレイの即時飛行停止と配備撤回を求める意見書	12月22日	否決
28	「クリーンエネルギー自動車」および「ZEV車両」に対する補助制度に国内メーカー優遇の制度改定を求める意見書	12月22日	否決

(5) 委員会提出議案

議案番号	件名	議決月日	結果
1	町田市議会委員会条例の一部を改正する条例	3月29日	原案可決
2	町田市議会会議規則の一部を改正する規則	3月29日	原案可決
3	町田市議会委員会条例の一部を改正する条例	6月28日	原案可決

(6) 可決した意見書・決議

●議員提出議案

新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の 日常を守る取り組みの強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の罹患者の中で、疲労感・倦怠感などの罹患後症状、いわゆる後遺症を訴える方が増えている。実際に、倦怠感、呼吸困難感、集中力の低下、記憶力の低下、睡眠障害など、仕事や学業の継続が困難になる方も多いと言われている。

後遺症は社会生活上、非常に影響が大きく、例えば、子どもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、怠けていると捉えられてしまう恐れもある。

感染拡大から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症への向き合い方も変わる中で、後遺症に悩み生活に大きな影響を受けている方々の治療等の確立は大変に重要な課題である。

よって政府に対して、新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々に寄り添い、一人一人の日常を守るために、下記の事項について積極的な取り組みを求める。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生状況について、非常に近い症状の筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) との関連も含めた、実態調査を推進すること。
- 2 一部医療機関で実施されている、Bスポット療法 (EAT・上咽頭擦過療法) 等の検証を進めるとともに、療法の標準化により、後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること。
- 3 自己免疫疾患との関連など、新型コロナウイルス感染症による後遺症の原因究明と新たな治療法の確立に向けた研究予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）3月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細 田 博 之 様
参議院議長	尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様
厚生労働大臣	加 藤 勝 信 様
総 務 大 臣	松 本 剛 明 様

認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書

日本における認知症の人の数は推計値で約600万人を超え、高齢化率の上昇に伴い、今後も増加が見込まれており、将来を見据えての備えの拡充が求められている。

今日、認知症の人への介護や医療の分野においては、認知症に対する知識や経験の蓄積や、認知症を進行させる要因の解明など、大きな進展が見られる。

また、地域や家庭においては、家族をはじめ周囲の人々の正しい知識と理解のもと、認知症の人の尊厳と日常を守る、認知症との共生型社会への転換が求められている。

よって政府において、認知症の人も家族も安心して暮らせる地域の構築のために、また認知症の人や家族の困難を最小限に抑えるために、下記の事項について特段の取り組みを求める。

記

- 1 認知症の人に初期の段階から、家族や周囲の人々が、適切に対応するための、認知症サポーター等の育成促進や、身近な薬局や介護施設等への相談窓口の開設を支援すること。
- 2 認知症の重症化抑制や認知機能の維持のための、当事者や家族との連携を重視しながらの、薬や対処法等の研究開発体制を強化すること。
- 3 認知症グループホームへの低所得者や圏域外の人々も含めた入所の仕組みづくりなど、認知症の人と家族に寄り添う制度を整備すること。
- 4 認知症のリスク低減につながる、生活習慣や栄養補給など、国民の日常をサポートする、知識や情報を提供する体制を整備すること。
- 5 認知症に対する施策を、国と地域が一体となって、総合的かつ総体的に推進するための、「(仮称)認知症基本法」を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年(2023年)3月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細	田	博	之	様
参議院議長	尾	辻	秀	久	様
内閣総理大臣	岸	田	文	雄	様
厚生労働大臣	加	藤	勝	信	様
総務大臣	松	本	剛	明	様

地域のグリーントランスフォーメーション（GX）の促進を求める意見書

気候変動により、世界中で大規模な自然災害が発生するなど、気候変動への対応は今や人類共通の課題となっている。世界的に脱炭素への機運が高まる中、我が国においても 2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年のカーボンニュートラル実現という目標を掲げている。

今こそ、需要サイドにおける徹底した省エネや循環経済の構築と共に、供給サイドにおける再生可能エネルギー等の普及拡大による、地域のグリーントランスフォーメーション（GX）が必要である。

よって政府においては、飛躍的な省エネと革新的な創エネによる地域のGXで、新しい経済成長を実現するために、下記の事項に総力をあげて取り組むことを強く要請する。

記

- 1 各家庭の省エネ促進に向けて、関係省庁で連携して、省エネ効果の高い断熱窓への改修など住宅の省エネ化や、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた電力の自給自足への支援を強化すること。
- 2 天候に左右されて出力変動が起きてしまう再生可能エネルギーの特性を補うため、蓄電池の大容量化・低コスト化とともに、余剰電気を水素で蓄えること等を可能とするための研究開発を加速すること。
- 3 家庭向けのヒートポンプ給湯器や家庭用燃料電池など、また産業向けの産業用ヒートポンプやコージェネレーションなど、熱需要の脱炭素化、熱の有効利用に向けた設備等の導入を促進すること。
- 4 2030年代後半に想定される太陽光パネルの大量廃棄に備えて、廃棄や再生の施設整備への投資の促進や、太陽光発電施設の維持管理や更新など、再生可能エネルギーによる電力供給量を確保するための制度的措置を検討すること。
- 5 電力の系統整備には莫大な資金が必要となるため、資金調達等が可能となる環境整備をすること。さらに、系統整備の期間短縮や経済合理性の観点から、より効率的な送電システムの整備への技術開発を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）3月29日

町田市議会議長 戸 塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細	田	博	之	様
参議院議長	尾	辻	秀	久	様
内閣総理大臣	岸	田	文	雄	様
経済産業大臣	西	村	康	稔	様
国土交通大臣	斉	藤	鉄	夫	様
環境大臣	西	村	明	宏	様
総務大臣	松	本	剛	明	様

アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書

現在、アスベストの健康被害が生じた場合は、「労働者災害補償保険制度（労災保険制度）」による補償や、石綿健康被害救済法や建設アスベスト救済制度による給付金等が支給されている。しかし、アスベストによる健康被害は今も増え続けており、アスベストの健康被害を受けた方々からは、一日も早い治療法の確立が求められている。

また今後は、アスベスト建材の使用ピークから約50年が経過し、当時建築されたビルや家屋の老朽化による解体もピークとなる。

そこで政府においては、今後のアスベストによる健康被害者の治療法の一日も早い確立と、アスベスト被害の発生防止に向け、下記の事項に全力で取り組むことを強く求める。

記

- 1 アスベストによる健康被害者の治療や進行抑制に効果のある研究・開発を促進し、そのための安定的な予算を確保すること。
- 2 地域の建築物におけるアスベストが含まれる建材の使用の有無の事前調査と解体・処分までの追跡調査を強化すること。
- 3 改正大気汚染防止法施行による建物の解体などにおける飛散防止対策の実施状況調査を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）3月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様

厚生労働大臣	加	藤	勝	信	様
国土交通大臣	斉	藤	鉄	夫	様
環境大臣	西	村	明	宏	様
総務大臣	松	本	剛	明	様

「LGBT 理解増進法案」に差別禁止規定を求める意見書

性的指向や性自認を含むあらゆる差別を禁止することは、いまや各国の義務となっており、世界50カ国以上で性的指向に基づく差別が禁止されている。

毎日新聞が2023年2月18、19の両日に行った全国世論調査（回答数1026件）で、日本で性的少数者の人権が守られていると思うか尋ねたところ「守られていると思う」は15%にとどまり、「守られているとは思わない」が65%に達した。

東京都は2018年10月、オリンピック憲章に沿って、LGBT等の人びとへの差別を禁止する「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」を制定した。日本政府は、性的指向および性自認に基づく差別と暴力の廃絶を目指す2011年と2014年の国連人権理事会決議に賛成している。

しかしながら、2021年5月、与野党が合意した「LGBT 理解増進法案」は国会提出にいたらなかった。G7で差別禁止の法整備がなされていないのは日本だけとなっている。

町田市においては、「パートナーシップ宣誓制度」導入にむけて、2023年第1回町田市議会定例会で「町田市性の多様性の尊重に関する条例」が可決されており、条例には権利侵害の禁止が明記されている。

誹謗中傷やいじめを受けた人が、誰にも相談できずに孤立することのないよう、差別が繰り返されることのないよう、法律というルールで差別から守られる社会を作ることは国のつとめである。

よって、町田市議会は、国に対して「LGBT 理解増進法案」に差別禁止規定を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）3月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
法 務 大 臣 齋 藤 健 様
総 務 大 臣 松 本 剛 明 様

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求める意見書

高齢化社会に伴い、耳が聞こえにくくなって仕事や社会生活に困る加齢性難聴者が増えています。加齢性難聴は、日常生活を不便にし生活の質を落とすだけでなく、認知症の原因になることが指摘されています。加えて、家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかなくなる、背後からの車両の接近に気づけなくなるなど、対人関係の悪化や交通事故に遭いやすくなることなどが懸念されています。

日本の難聴率は欧米諸国と比べ大差はありません。しかし、欧米諸国と比べると、日本の補聴器使用率は低く、日本での補聴器の普及が求められています。補聴器の価格は、1台（片耳）あたりおおむね3万円～50万円であり、平均価格は1台15万円程度と言われているものの、保険適用ではないため、全額自費となります。身体障害者福祉法第4条に規定される身体障害者である高度・重度難聴の場合は、補装具費支給制度により原則1割負担で取得できますが、その対象者はわずかです。そのため補聴器購入者の約9割は自費で購入しており、「高額のために買うのを諦めた」などの声をよく聞きます。欧米では、補聴器購入に対し公的補助制度があり、日本でも、高齢者の補聴器購入に対し補助を行う自治体が増えています。補聴器のさらなる普及で高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防や交通事故防止、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考えます。

よって町田市議会は、政府に対して、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度の創設を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和5年（2023年）3月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
財 務 大 臣 鈴 木 俊 一 様
厚生労働大臣 加 藤 勝 信 様
総 務 大 臣 松 本 剛 明 様

薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書

抗生物質などの現行の抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性（AMR）を持つ細菌の発生により、医療機関において患者への適切な治療や手術時の感染予防などが困難となるサイレントパンデミック（薬剤耐性菌感染症）が世界的に発生している。

この薬剤耐性菌の影響について英政府支援のもとで進められた「AMRに関する影響評価」では、2050年には年間1000万人以上の死亡者数が予測されている中で、出来る限り早い段階での薬剤耐性菌による感染症の蔓延を防止する体制を整えることが必要である。

ここで、最も重要な新規抗菌薬について、難易度が非常に高く、多額の開発費用を要するだけでなく、将来的な感染動向の予測も出来ない上、抗菌薬の特性から投与期間が短いことなど、開発投資の回収を見通せないことから、その開発から撤退する企業が相次いでいる。

このような背景の下、AMRに効果がある新規抗菌薬開発を支援する動きが各国で活発になっており、G7首脳会議や財務大臣・保健大臣合同会合で市場インセンティブが具体的に検討されている中で、我が国においても抗菌薬確保支援事業によりその検討を開始した。

そこでこの際に、地域社会の危機管理と安全保障の視点から、薬剤耐性対策を国家戦略として、その感染予防・管理、研究開発・創薬、国際協力等を着実に推進するなど薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和5年（2023年）6月28日

町田市議会議員 戸塚 正 人

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
厚生労働大臣 加 藤 勝 信 様
総務大臣 松 本 剛 明 様

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

文部科学省「学校基本調査」によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、10年間で、特別支援学校については学校数が約11%増加、児童生徒数は約14.3%増加、特別支援学級は1.6倍に増え児童生徒数は2.1倍に増加している。また通級による指導を受けている児童生徒数は約2.6倍に増え、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。

このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。また今日、共生社会の形成に向けて、「障害者の権利に関する条約」に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育のさらなる拡充が必要である。

よって政府においては、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、下記の事項について財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

記

(1) 特別支援教育支援員の適切な配置

障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室移動の補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援。

(2) 特別支援教育コーディネーターの適切な配置

保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整の役割を担い、子どもたちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適切な配置への支援。

(3) 看護師等の専門家の適切な配置

医療的ケアが必要な子どもや、障がいのある子どもへの支援を的確に実施するために、看護師、ST（言語聴覚士）、OT（作業療法士）、PT（理学療法士）等の専門家の必要に応じた適切な配置への支援。

(4) 特別支援学校のセンター的機能の強化

各学校でインクルーシブ教育を一体的に進めるために、担当の教員だけでなく学校長等に対する指導や研修等を実施し、校内全体での取り組みを促進するために、特別支援学校のセンター的機能強化への支援。

(5) 特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置

GIGAスクール構想により整備された1人1台の端末を、特別支援学級や特別支援学校において、授業はもとより、個々の特性や教育的ニーズに応じた支援ツールとして有効に活用するための特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置への支援。

(6) 特別支援学校教諭免許状の取得支援

特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状の取得率は87.2%となっており、特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への取得支援の強化や、大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得への支援。併せて、特別免許状についても強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和5年（2023年）6月28日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
財 務 大 臣 鈴 木 俊 一 様
文部科学大臣 永 岡 桂 子 様
厚生労働大臣 加 藤 勝 信 様
総 務 大 臣 松 本 剛 明 様

公共施設等適正管理推進事業(除却事業)における
財政支援の拡充を求める意見書

平成26年4月、総務省は「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を通達し、地方自治体での「公共施設等総合管理計画」策定を要請した。町田市では、この要請に従って平成28年に「町田市公共施設等総合管理計画」を策定している。各地方自治体でも、今後の社会構造や財政状況、公共施設の利用需要に対応した適正配置を行うための統廃合や、更新の取組を進めている。

地方自治体の現状は、公共施設の老朽化や人口減少・少子高齢社会を踏まえた施設保有量の縮減が必須条件であり、不要施設の除却は維持経費削減の観点からも喫緊の課題である。

本市においても小中学校の再編と適正配置に係る校舎体育館など、様々な公共施設の再編が検討されている中で、立地適正化や公共用地の有効活用を図る場合、集約化や複合化に伴い転用活用することがなく、除却すべき施設に該当する施設が多数出てくることが想定される。町田市では、首都圏の中でも先駆けて公共施設再編計画が進んでいることから、公共施設の除却費の捻出は他市以上に喫緊の課題といえる。

現在、国が行っている財政措置は、公共施設の再編に係る起債、地方交付税の対応がなされているが、除却事業に対する財政措置は起債のみであり、地方交付税の算定対象外である。

よって、町田市議会は地方自治体における公共施設マネジメントの一層の推進を図る上でも総務省における公共施設等適正管理推進事業のうち、除却事業に係る地方財政支援の拡充を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年(2023年)6月28日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
財 務 大 臣 鈴 木 俊 一 様

総務大臣 松本剛明様

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する 幅広い救済を求める意見書

1948年に制定された旧優生保護法の第1条には、法律の目的として「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」と記されています。その後世界的にもこうした手術は差別に当たるとされ、我が国においても1996年に旧優生保護法が改正され優生手術に関する規定が削除されました。

この間、法律のもとで手術を受けた人は約8万4000人とされています。

この方々に対して議員立法で2019年4月、国会で「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が成立し、一時金の支給が開始されました。

一方でこの間、優生手術を受けられた方が国に対して謝罪や補償を求める裁判が全国で起こされて来ました。

当事者の救済で大きな課題となっているのは、高齢化と障がいにより当事者把握が難しいことと、時間の課題が挙げられます。一時金の申請は当事者が生存していることが条件であり、精神障がいや知的障がいなどにより被害の把握に困難が伴います。また、請求期間は法律の施行後5年（2024年4月23日）とされていますが、2023年7月末までに認定されたのは1054件しかありません。

一方裁判では原告が手術を受けた時期からは20年以上が過ぎており、民法において問題の行為から20年が経過したら賠償を求める権利が消滅するという規定があり、「除斥期間」が大きな時間の壁となっていましたが、2022年の大阪高裁、東京高裁においては「除斥期間」の適用は制限されると認め、国に賠償を命じました。

こうしたことを受け、松野官房長官も「一時金の水準などを含め、国会と相談したい」と述べ、増額も含めて対応を検討する考えを示しています。

こうした現状において町田市議会は一刻も早く優生手術により心身に多大な苦痛を受けられた当事者の幅広い救済に向けて国がその責任において努めるように求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）9月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細 田 博 之 様
参議院議長	尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
厚生労働大臣	武 見 敬 三 様
総務大臣	鈴 木 淳 司 様

下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、感染者数の把握が定点把握に変更されたこともあり、正確な感染状況が見えづらくなっている現在、今後起こりうる感染のピークや傾向を把握するためにも、また、新たな感染症に対応するためにも、「下水サーベイランス（疫学調査）」を全国の地方公共団体の下水処理場で実施すべきである。

感染症対策の基本は、適切な検査を正確に行うことが肝要だが、PCR検査などでは感染者が自主的に検査を受けなければ陽性者を特定できず、各地域の感染の広がりや傾向をつかむことはできない。しかし、「下水サーベイランス」を活用すれば、その地域の「見えない感染を見える化」でき、感染の初期段階から、医療機関の検査報告よりも早く感染の兆候が分かる可能性があり、その後の感染の規模や増減の傾向も把握できる。

内閣官房が、令和4年度に実施した「下水サーベイランスの活用に関する実証事業」でも、その結果報告において「将来の感染状況の予測によって、市民への注意喚起や地方公共団体の体制整備に活用できる可能性がある」と明記されたところであるが、国においては、早急に下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 令和5年9月1日に発足した「内閣感染症危機管理統括庁」が司令塔となって、厚生労働省、国土交通省、各地方公共団体が連携して下水サーベイランス事業を全国展開すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）9月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様

厚生労働大臣 武 見 敬 三 様
国土交通大臣 斉 藤 鉄 夫 様
総務大臣 鈴 木 淳 司 様

脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の 推進を求める意見書

現在、気候変動防止に向けた社会の脱炭素化（カーボン・ニュートラル）や、生物多様性の保全と活用への自然再興（ネイチャー・ポジティブ）は、人類社会を持続可能なものにする上で、最も重要な課題の一つとなっている。

今こそ、資源効率性の最大化と環境負荷の低減の両立を目指して、大量生産から大量廃棄を生むリニア・エコノミー（直線型経済）から、廃棄される製品や原材料などを「資源」と捉え、循環させる新しい経済システムであるサーキュラー・エコノミー（循環型経済）への転換が必要である。

そのためには、日常生活を支えている物品の、材料の生成や加工、製品の製造から廃棄における、自然の破壊やエネルギー消費を抑制するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）へと、ライフスタイル全体を変革する大きな流れを作り出していかなければならない。

具体的には、家電製品や製紙、衣類など、国民生活に密着した製品の資源循環を推進するために、製品を生み出す「動脈産業」と、廃棄物の回収や再利用などを担う「静脈産業」の連携など、産業構造の構築が重要である。

そこで政府に対して、循環経済関連ビジネスを新たな成長産業として位置づけ、脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の実現を目指し、下記の事項について特段の取組を要望する。

記

1、資源循環を促進するための制度や施設の整備

貴金属等の有価性の高い資源が集約されている家電や情報通信機器や、再生可能エネルギー等の大量導入により将来は大量廃棄が予想される太陽光パネルや蓄電池の部材等に対して、資源循環を促進するための制度の創設や適切な運用、精錬技術の開発や施設の整備を促進すること。

1、動静脈産業の連携による資源循環ビジネスの普及を促進

製品の設計や製造の段階から廃棄や再生までの、ライフサイクル全般での環境負荷低減等の実現を目指して、動静脈産業の連携による資源循環ビジネスモデルの普及を促進すること。

1、建築物等の長寿命化を促す制度等の創設

建築物においても、スクラップ&ビルドというフロー型から、ストック型への移行が重要であり、設計・計画から施工、維持管理までの全体を通して長寿命化やリノベーションによる建築の価値の最大化を図るために、新たな基準の設定や優遇税制の創設を図ること。

1、製品の長期利用等に資するビジネスやサービスの普及拡大

リファービッシュ品（再生品）の二次流通製品の製品安全担保等に関する環境を整備し、製品の適切な長期利用を促進するリコマース・ビジネス（中古品取引）を育成するとともに、製品の長期利用に資する、シェアリング（共有）、サブスクリプション（期間利用）等のサービスの普及拡大を図ること。

1、地域や施設における資源循環の導入促進

地域におけるバイオマスエネルギーの利活用により、森林を保全しつつ、木材・木質資源の持続可能な活用を目指すフォレスト・サーキュラー・エコノミー（森林・木材循環経済）の実現や、高齢化に伴い大人用紙おむつの利用が今後増加することを踏まえ、紙おむつのリサイクルの普及に向けた自治体や事業者の取組を支援すること。

1、より多くの古紙が回収・利用される環境の整備

紙の資源循環を一層推進するため、洋紙由来の古紙に加えて、段ボール等の板紙由来の古紙や、これまで焼却処分されていた未利用古紙の活用を促進するために、自治体が定める回収対象の古紙の範囲を拡大し、出来るだけ多く古紙が回収・利用される環境を整備すること。

1、衣類の資源循環システムの構築

衣類の多くが有効利用されずに焼却・埋立てされている現状に対して、衣類耐久性やリサイクルの容易性等を重視した衣類の循環配慮設計を積極的に進めると同時に、グリーン購入法を通じ、リサイクル素材を活用した衣類を政府や自治体が積極的に使用すること等で、衣類の循環市場を育成すること。

1、建設廃棄物のリサイクルの高度化

建設リサイクル法等を通じて建設廃棄物は約97%が再資源化されているものの再資源化はダウンサイクルが中心であることから、水平リサイクル・アップサイクルへの転換を進め、量と質の両立を図ること。

1、自然関連及び気候関連の財務情報開示タスクフォースの推進

企業が自社の事業活動が自然環境に及ぼす影響や依存度に関して情報を開示する自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）と、企業が自社の事業活動が気候変動に及ぼす影響等の情報を開示する気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に対して、算定基盤の創設等を率先して進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）9月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細 田 博 之 様
参議院議長	尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
経済産業大臣	西 村 康 稔 様
国土交通大臣	斉 藤 鉄 夫 様
環 境 大 臣	伊 藤 信 太 郎 様
総 務 大 臣	鈴 木 淳 司 様

ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の 評価等を求める意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症（減少症）によって、日常生活を大きく阻害する様々な症状に苦しんでいる患者の声が、全国各地から国へ数多く寄せられていた。その後、山形大学を中心に関連 8 学会が参加し、厚生労働省研究班による病態の解明が進んだ結果、2016年より同症の治療法であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）が保険適用となった。

その結果、それまで高額な自費診療での治療を必要としていた患者が、保険診療のもとにブラッドパッチ療法を受けることができるようになったが、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者の中には、保険適用 J007 - 2 の要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係るもの」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている。

また、その後の研究で、脳脊髄液の漏出部位は一箇所とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こる事が報告された。ここで、この頸椎や胸椎部にブラッドパッチ療法を安全に行うためには、X線透視下で漏出部位を確認しながらの治療が必要であるが、診療上の評価がされていない現状がある。

よって政府においては、以上の新たな現状を踏まえ、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者への、公平で安全なブラッドパッチ療法の適用に向け、下記の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 脳脊髄液漏出症（減少症）の症状において、約10%は起立性頭痛を認めないとの公的な研究でも報告があることを受け、算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えること。
- 1 ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の診療報酬において、X線透視を要件として、漏出部位を確認しながら治療行うことを可能にするよう、診療上の評価を改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）9月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	細	田	博	之	様
参議院議長	尾	辻	秀	久	様
内閣総理大臣	岸	田	文	雄	様
文部科学大臣	盛	山	正	仁	様
厚生労働大臣	武	見	敬	三	様
国土交通大臣	斉	藤	鉄	夫	様
総務大臣	鈴	木	淳	司	様

018サポートの給付金を生活保護の収入認定から
除外するよう調整することを求める意見書

2023年9月1日から申請が始まった東京都の「018サポート」は、「都内に在住する全ての18歳以下の子どもに対し、1人当たり月額5,000円（年額6万円）を支給することで、学びなど子どもの育ちを切れ目なくサポートし、『子育てのしやすい東京』を実現」する事業である。子育て世帯に大変歓迎されている事業であるが、その留意事項には「生活保護を受給している場合、018サポート給付金は収入として認定」とあり、1人当たり年額最大6万円の支給については収入認定され、その分の生活保護費は減額される。

生活保護受給世帯がその恩恵を実質的には受けられない状況にあることから、所得制限を設けず全ての18歳以下の子どもを対象とする支援策としては、東京都の児童育成手当（育成手当・障害手当）などと同様に収入認定除外の取扱いが相応しいものとする。

よって、町田市議会は東京都に対し、下記の事項を実施するよう強く求めるものである。

記

- 1 東京都の018サポートに相応しい支援策として、生活保護世帯については収入認定から除外するよう可及的速やかに再調整をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）9月29日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

東京都知事 小池 百合子 様
総務大臣 鈴木 淳司 様

認知症との共生社会の実現を求める意見書

認知症の高齢者が2025年には約700万人になると想定されている現実に対して、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための、『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』が先の国会で成立した。現在、政府において、認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議において、認知症の本人及びその家族をはじめ、認知症に関わる様々な方々から幅広い意見を聴きながら、認知症基本法の施行に先立っての方針を取りまとめている。

今こそ、「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会(=共生社会)の実現を推進すること」という目的に向かって、認知症施策を国と地方が一体となって進めていくときである。

私たちが目指す共生社会とは、誰もが認知症になる可能性がある中で、生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ持てる力を生かしながら、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができる社会である。よって政府に対して、下記のとおり、認知症との共生社会の実現に必要な予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を、各地域で実現することを強く求める。

記

1 認知症基本法の円滑な施行に総力を

2023年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の円滑な施行に向け、立法の趣旨を踏まえ、施行後に設置する「認知症施策推進本部」をはじめとする準備に万全を期すこと。特に、認知症の本人が、自身が認知症であることを隠すことなく、朗らかに日常を続けられるように、認知症に対する偏見や差別を解消するため、古い常識の殻を破り、基本的人権に根差した希望のある新しい認知症観の確立のために、省庁横断的かつ総合的な取組の推進に総力を挙げること。

1 地方自治体への支援の強化

地方自治体における都道府県認知症施策推進計画・市町村認知症施策推進計画の策定において、今までの延長ではなく、共生社会の実現に向けた統合的かつ連続的な計画の策定を可能にする専門人材の派遣など、適切な支援を行うこと。また、各自治体が主体的に実効性の高い施策を自在に展開するために、自由度の高い事業展開と予算措置の在り方を検討すること。

1 地方自治体の組織体制の強化

地域住民に対する法の理念等の普及啓発、安心・安全な地域づくりの推進等、共生社会の実現を推進する取組を、部門間の縦割りをなくして総合的かつ継続的に推進すること。また、各自治体の施策を適切かつ的確に展開するために、認知症の本人が企画から評価まで参画できる体制の整備を検討すること。

1 認知症の人の働きたいというニーズを叶える労働環境の整備

認知症の人の働きたいというニーズを叶える環境整備も重要である。若年性認知症の人、その他の認知症の方々の就労や社会参画を支える体制整備を進めるとともに、働きたい認知症の人の相談体制を充実し、認知症と診断されても、本人の状態に応じて、社会の一員として安心して生活できる事業者も含めた社会環境を整備すること。

1 認知症の方を抱える「ご家族」への支援体制の拡充

独居や高齢者のみ世帯が急増する中で、一つの事業所で相談から訪問介護、通所、ショートステイまで、一人一人の状態の変化に応じて継続的に対応できるオール・イン・ワンの介護保険サービスを24時間365日提供する小規模多機能型居宅介護サービス事業について、見守り体制の整備も含めて拡充すること。

1 身寄りのない方にも柔軟に寄り添い支える社会の構築

身寄りのない方を含め、認知症になったとしても、その状態に応じて、安全に安心して生活ができる社会環境の構築に向け、一人一人の意思を最大限に尊重し総体的かつ柔軟に寄り添い支える、成年後見制度や身元保証等の在り方について現状の課題を整理し検討を進めること。また、住まいに課題を抱える方々に対する総合的な相談対応、一貫した支援を行う実施体制を整備すること。

1 認知症に関する基本事項を繰り返し国民が学べる環境の整備

すべての国民が正しく認知症に向き合う社会環境を整えるために、認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どこで、どのような医療・介護サービス・地域支援を受けることができるのか（認知症ケアパス）、さらに認知症の人を支える周囲の人における意思決定支援の基本的考え方や姿勢、方法、驚かせない！急がせない！自尊心を傷つけない！など配慮すべき事柄等（認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン）を、繰り返し国民が学べる環境を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）12月22日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	額 賀 福志郎 様
参議院議長	尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様
法 務 大 臣	小 泉 龍 司 様
厚生労働大臣	武 見 敬 三 様
総 務 大 臣	松 本 剛 明 様

食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

食品ロス削減推進法が2019年10月1日に施行され、食品ロス削減に関する普及・啓発が進められてきた。一方で、農林水産省が公表した2021年度の食品ロス量は523万トンで、その内訳は事業系食品ロス量が279万トン、家庭系食品ロス量が244万トンとなっている。

現在、世界で約8億人が飢餓に直面していると言われていた中で、国連世界食糧計画（国連WFP）では、飢餓で苦しむ人々のために、年間約480万トン（2022年実績）の食料支援を行っており、日本における食品ロスとして、まだ食べられるのに捨てられてしまう食料が、その1.1倍以上となっているのが現状である。

また食品ロスの削減は、気候変動対策としても大変に重要であり、廃棄における直接的に生じる環境影響だけでなく、その生産過程で投入される天然資源やエネルギーの浪費、製造・加工・流通・卸・小売の各段階でのエネルギー消費など、環境に及ぼす影響は決して少なくはない。

よって、政府に対して、食品ロス削減推進法に基づき、誰もが取り組める脱炭素アクションとして、食品ロス削減への国民運動のさらなる推進のために、下記の事項について特段の取組を求める。

記

1 事業者と一体となったエシカル消費の普及促進

賞味期限や消費期限が近いものから選ぶ「てまえどり」など、エシカル消費の普及啓発を一層進めるとともに、食品ロス削減を積極的に進める事業者の評価や支援の強化を図ること。また、地域や事業者の食品ロスの計測・公表等の体制を拡充し実効性を強化すること。

1 食品ロス削減に繋がる小分け包装等の拡大

食品ロスを防ぐための使用量や頻度に合わせた「小分け包装」や、食品自体の鮮度の保持や賞味期限等の延長につながる容器・包装の改善や工夫の促進、外食産業における「小分け提供」や「持ち帰り」など、「食べきり」を積極的に進めるための取組を一層強化すること。

1 在庫食品や未利用食品の寄付の普及拡大

食品ロス防止のため、子ども食堂・子ども宅食、フードバンク等へ、企業等からの在庫食品の寄付促進や、フードドライブ（未利用食品の寄付運動）等の利活用で、「もったいない」と「おすそわけ」の好循環をつくり、国民運動としての取組を一層強化すること。

1 コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の設置支援

事業系の食品ロス削減と子ども食堂等への支援を行うために、企業・商店などから提供された食料品等を、地域に設置された冷蔵庫や冷凍庫で保管し、随時必要とされる住民や団体等に提供するコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の設置や運営等への支援制度を整備すること。

1 出荷や加工前に廃棄されている地域の食材の活用

食に関わる事業者と野菜等の生産者の連携を促し、色や形における規格外品や、食材の

皮や芯や種など、出荷や加工前に廃棄されている地域の食材を、できる限り有効に活用する商品開発や消費の拡大などに取り組む地方自治体等の事業に対して積極的な支援を展開すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）12月22日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	額	賀	福志郎	様
参議院議長	尾	辻	秀久	様
内閣総理大臣	岸	田	文雄	様
文部科学大臣	盛	山	正仁	様
厚生労働大臣	武	見	敬三	様
農林水産大臣	坂	本	哲志	様
経済産業大臣	齋	藤	健	様
環境大臣	伊	藤	信太郎	様
総務大臣	松	本	剛明	様

医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

介護事業所や障害福祉事業所では、人材の確保・定着が難しく、運営に支障をきたす事態が深刻になっている。また募集しても応募がなく、公的に定められた人員配置基準は何とか満たしたとしても、現場で必要としている職員数に満たない欠員状態が続く事業所が多いのが現状である。

厚生労働省の賃金構造基本統計調査(2022年)でも、福祉施設等の介護職員の超過勤務手当などを含む平均賃金は月額25万7,500円で、全産業平均の34万100円と比べて、8万円を超える格差がある。

今日、最低賃金の引き上げや大手企業を中心にベースアップ(基本給の引き上げ)などによって賃上げが進む中で、介護職員などへの対策は打たれておらず、賃金格差がさらに拡大している。

また、8月に出された人事院勧告は民間企業の賃上げを受けてプラス改定となり、私立保育園等の公定価格や児童養護施設の措置などは4月に遡って増額される一方で、介護報酬や障害福祉サービス等報酬には反映されない状況である。

介護や障害福祉を支える職員は、専門職として位置づけられているにも関わらず低賃金、人手不足による過酷な労働を強いられることが続けば職員の離職に歯止めがかからない状態に陥り、施設の運営も困難となり、必要な福祉サービスの提供ができなくなる恐れがある。

よって、政府に対して下記のとおり、介護職員等の賃金水準を確保するための制度改革と同時に、職員の人権を尊重し生活を保障する取組を迅速に推進することを強く求める。

記

1 医療・介護・障害福祉分野の賃上げについて、経済対策での処遇改善支援事業を早期に実行すること。その上で、2024年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬同時改定においては物価高騰・賃金上昇等を踏まえ処遇改善等を行うこと。

1 新型コロナウイルス感染による緊急時のサービス提供に必要な介護人材確保のため、手当の支給など、地域医療介護総合確保基金における「新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」の活用を推進すること。

1 介護や障害福祉を支える職員は、専門職として位置づけられており、高齢化社会を支える必要不可欠な人材であることから、公営住宅の空き家の「地域対応活用」を促進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）12月22日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長	額 賀 福志郎	様
参議院議長	尾 辻 秀 久	様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄	様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一	様
厚生労働大臣	武 見 敬 三	様
国土交通大臣	斉 藤 鉄 夫	様
総 務 大 臣	松 本 剛 明	様

パレスチナ自治区ガザ地区における
即時かつ持続的な人道的休戦を求める意見書

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの大規模衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、人命が深刻な危機的状況にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

いかなる理由があろうともすべての紛争当事者は、国際人道法を厳守すべきである。国連のグテーレス事務総長は、ガザ地区における民間人を含めた攻撃を非難した上、「ガザで見られる明白な国際人道法違反を深く憂慮している」と発言している。

国連安全保障理事会で、2023年11月15日に人道目的の戦闘の休止などを求める決議を採択したにも関わらず、今なお悲惨な紛争が繰り返されている中、町田市議会は、この紛争に関わる全ての当事者及び日本政府をはじめとする国際社会に対し、次のとおり求める。

- 1 即時かつ持続的な人道的休戦及び人質を即時解放すること
- 1 国際法、国際人道法を遵守すること
- 1 人道的被害の抑制、人道支援物資の供給を通じた人道状況を改善すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年（2023年）12月22日

町田市議会議長 戸塚 正 人

提 出 先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
外務大臣 上 川 陽 子 様
総務大臣 松 本 剛 明 様

(7) 請 願

請願番号	件 名	受理月日	議決月日	結 果
10	町田市立南第三小学校廃校計画の見直しを求める請願	R4. 11. 29	3月29日	不採択
1	南成瀬小と南第二小の統廃合計画の見直しを求める請願	R5. 2. 17	3月29日	不採択
2	芹ヶ谷公園の自然環境の保全に向けた定期的な自然観察調査等の実施を求める請願	R5. 2. 21	3月29日	不採択
3	国際工芸美術館（仮称）の建設を抜本的に見直すこと、及び町田市立博物館の収蔵品の鑑定を行うことの請願	R5. 2. 21	3月29日	不採択
4	国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	R5. 2. 21	3月29日	不採択
5	町三小、本町田東小、本町田小の存続を求める請願	R5. 2. 21	3月29日	不採択
6	インボイス制度の導入延期を政府に求める請願	R5. 5. 31	6月15日	不採択
7	公立小中学校の給食費無償化を求める請願	R5. 5. 31	6月28日	不採択
8	自衛隊への個人情報提供を希望しない市民のための除外申請手続き設立を求める請願	R5. 6. 2	6月28日	不採択
9	鶴川第三小学校の統廃合計画の見直しを求める請願	R5. 6. 5	6月28日	不採択
10	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業について（仮称）公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟について協議する場を求める請願	R5. 6. 5	6月28日	不採択
11	国に対し「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	R5. 8. 23	9月8日	不採択
12	町田市公立小中学校図書館学校司書配置を求める請願	R5. 8. 28	9月29日	採択
13	小山田小学校の廃校時期見直しの議論を求める請願	R5. 8. 29	9月29日	採択
14	町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願	R5. 8. 29	9月29日	不採択
15	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める請願	R5. 8. 29	12月22日	不採択
16	町田市議会政務活動費の用途の透明性の確保に関する請願	R5. 11. 27	12月22日	不採択
17	小山田地域の小・中学校の存続を求める請願	R5. 11. 29	12月22日	不採択
18	鶴川第二・三・四小学校統廃合計画の変更と延期を求める請願	R5. 11. 29	12月22日	不採択
19	野津田公園の湿生植物園についての請願	R5. 11. 29	12月22日	不採択

(8) 陳 情

陳情 番号	件 名	受理月日	付託 月日	議決 月日	結 果
13	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地 周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全 の保障を求める陳情	R4. 12. 26	—	—	全議員 参考送付
1	国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制 度)の延期・見直しを求める陳情書	R5. 5. 15	—	—	全議員 参考送付
2	保育士不足及び保育士確保に関する陳情書	R5. 8. 28	—	—	文教社会 常任委員会 参考送付
3	ワクチン接種券の送付の廃止とインフォームド コンセントの徹底に関する陳情	R5. 10. 5	—	—	全議員 参考送付
4	年金制度における外国人への脱退一時金の是正 を求める意見書の採択を求める陳情	R5. 11. 28	—	—	全議員 参考送付

(9) 質疑の通告内容

第1回定例会

まちだ市民クラブ (70分)

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(1)「物価高騰への対応」について</p> <p>①物価高騰のため市民の生活や市内事業者の経営が圧迫されているが、市民や市内事業者に対する市独自の支援について、これまでの取り組みと今後の考えは。</p> <p>②2022年6月の代表質疑の際には「物価高騰下においても市の計画通りに事業を確実に推進していく」という旨の答弁があったが、物価高騰は未だ改善の兆しが見られない。この状況を踏まえ、2023年度当初予算編成にあたりどのように考えたのか。</p> <p>(2)「少子化対策の考え方」について</p> <p>①「果敢に取り組む」とされている「子どもを産み育てたい人たちの希望が叶えられるようなまち」とは具体的にどのようなまちだと考えているか。</p> <p>(3)「高齢化に伴う社会問題への対応」について</p> <p>①高齢者の「地域ぐるみで見守り合い、支え合える体制を強化」についての具体的な考えは。</p> <p>(4)「ここでの成長がカタチになるまち」について</p> <p>①「女性の地位向上や男性の育児支援」について、民間企業へ波及させるためにも庁内での取り組みが重要と考えるが、庁内での市の職員に対する取り組みは。</p> <p>②「(仮称)子どもにやさしいまち条例」について、条例制定の背景や目的、進捗状況および今後の進め方は。また、条例制定後の市政への子どもの参画について、どのように考えているか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>③「まちだ若者大作戦」とはどのようなものか。例としてイベント応援の取り組みとあるが、「子どもの参画を促し、子どもの意見を市政にいかしていく」ことにどう繋がるのか。</p> <p>④「(仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設」に、どのような機能を複合化するのか。また、民間サービスとのコラボレーションとはどのようなものを想定しているのか。</p> <p>⑤学校統廃合と同時に行われる「学童保育の統廃合」について、配置の考え方と具体的なスケジュールは。特に子どもの帰宅時における移動距離や時間が統廃合前より長くなることについて、安全確保に関する考えは。</p> <p>(5)「わたしの“ココチよさ”がかなうまち」について</p> <p>①「多摩都市モノレールの町田方面延伸」について、「中心市街地の活性化へのプロジェクト」や「モノレール沿線のまちづくり」等の取り組みを推進しているが、早期実現に向け市長のリーダーシップで、今後具体的にどのような取り組みを進めていくのか。</p> <p>②「モノレール沿線の3つのエリアのまちづくり」については、住民をはじめとした関係者の声を取り入れながら進めていくべきだが、各エリアでの今後の取り組み内容は。</p> <p>③「(仮称) 国際工芸美術館の整備」について、資材等の高騰により工事予算が増額するが、その費用対効果についてはどのように考えているか。また、周辺住宅にのぼりが立てられる等、地域住民の理解が得られていないと感じるが、地元住民との協議について今後の考えは。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>④「町田市バイオエネルギーセンター周辺施設整備基本計画」において、どのような施設を整備していく想定か。また、策定スケジュールは。</p> <p>⑤「(仮称)町田木曾山崎パラアリーナ」について、パラスポーツを中心とした施設とする理由と目的は。また、地域の活性化にどのような効果があると考えているか。</p> <p>(6)「誰もがホッとできるまち」について</p> <p>①「町田市性の多様性の尊重に関する条例」や「町田市パートナーシップ宣誓制度」を創設することで市がどのように変わっていくと考えるか。また、これらを市民や事業者に対しどのように展開し、浸透させていくのか。</p> <p>②「まちだ福祉〇ごとサポートセンター」について、これまで行政とあまり繋がりのない市民を地域福祉コーディネーターが支援していくとのことだが、どのような方法で支援に結びつけていくのか。また、高齢者支援センター、障がい者支援センターとの役割の違いおよび連携は。</p> <p>③「小山田エリアの交流回遊拠点施設の基本構想」について、検討状況と今後の進め方は。</p> <p>④防災分野におけるDX推進について、災害時の市民への情報提供、また、防災意識を高めるための取り組みはどうか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	15	議員名	東 友美 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
第7号	<p>(1)「都市計画税」について</p> <p>①令和5年1月の総務省自治税務局事務連絡には「都市計画税は本税の目的税としての性格に鑑み、都市計画税収の都市計画事業費への充当について明示することにより、その用途を明確にすること」と記載されている。2023年度、増収が見込まれる本税の用途は何か。また、都市計画施設整備のための立地適正化計画策定の進捗状況は。</p>				

発言 順位	2	議席 番号	4	議員名	笹倉みどり (個人質疑)
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第7号	歳出	1.野津田公園 スポーツの 森整備事業	<p>(1) パークセンターゾーン(スケートパーク)の基本設計の目的と内容について問う。</p> <p>(2) 調整池をスケートパークの計画地とした理由は。</p> <p>(3) 調整池は湿性植物園として貴重な水辺と認識しているが、生物多様性への影響は考えているのか。</p>		

公明党（55分）

発言 順位	3	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(1) 子どもを産み育てたい人たちの希望が叶えられるようなまちづくりに取り組むとのことだが、多くの方に「まちだで子どもを産み育てる」ことを選んでいただき、長く住み続けていただくために、どのようなことに取り組んでいく考えか。</p> <p>(2) 高齢化の進展に対して地域ぐるみで支え合える体制を強化していくとのことだが、高齢者が地域と関わりを持ち、地域で一体となって高齢者を支えていくために、どのような取り組みを強化し、進めていく考えか。</p> <p>(3) 学校が地域活動の拠点としてより利用しやすくなることを目指していくとのことだが、学校や中学校給食センターが防災機能をはじめ地域活動の拠点となり、人と地域が共に成長していく施設となるために、どのように取り組んでいく考えか。</p> <p>(4) 「大規模店舗等の更新や土地の高度利用など、駅周辺の開発を進め、魅力ある駅前空間づくりに取り組み、プロジェクト推進にあたって市の組織体制を強化する」とのことだが、中心市街地のまちづくりの考え方は。</p> <p>(5) 「町田市バイオエネルギーセンター周辺施設整備基本計画」を策定するとのことだが、安全安心なココチよいまちにするために「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」を受けてどのような考えで策定するのか。</p> <p>(6) 「(仮称) 町田木曾山崎パラアリーナ」は、誰もが利用できるユニバーサルな施設とすべきだが、どのような施設にしていく予定か。また、整備によって期待される効果はどのようなものか。</p>				

発言 順位	3	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(7) 「町田市性の多様性の尊重に関する条例」や「(仮称)町田市障がい者差別解消条例」制定において、どのように当事者の声をくみ上げていくのか。また、共生社会の実現へ向けて、どのように取り組んでいく考えか。</p> <p>(8) 市内に順次「地域福祉コーディネーター」を配置していくとのことだが、地域に根差した相談窓口としていくために、どのようにこの相談支援体制を展開していく考えか。</p> <p>(9) 「首都直下地震等による東京の被害想定」を踏まえ、どのように町田市地域防災計画に反映していくのか。また、災害時の行動に関する考え方をどのように浸透させていくのか。</p> <p>(10) 誰もが豊かさを実感できるデジタル社会を実現していくために、どのように専門性を確保し、セキュリティを構築していく考えか。</p>				

発言 順位	4	議席 番号	18	議員名	松葉ひろみ (個人質疑)
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第7号	歳出	1. 出産・子育て 応援事業	(1) 自治体の創意工夫により「伴走型相談支援の充実」を実施することになるが、生きた伴走型相談支援に対応するための工夫と体制は。		

自由民主党（50分）

発言 順位	5	議席 番号	36	議員名	佐藤伸一郎 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(1) 2023年度の市政運営の視点について</p> <p>①「ゼロカーボンシティまちだ」について</p> <p>「ゼロカーボンシティまちだ」の宣言後、どのような姿勢で温室効果ガスの排出削減に取り組んでいるのか、市長の考えは。あわせて、これまでどのような取り組みを進めてきたのか。また、今後どのような取り組みで目標を達成させていくのか。</p> <p>②子育て家庭への支援について</p> <p>妊娠期から子育て期に妊婦や子育て家庭に寄り添う支援の必要性に対する市長の考えは。</p> <p>(2) ここでの成長がカタチになるまちをつくる取り組みについて</p> <p>①「(仮称)子どもにやさしいまち条例」についてどのような考え方をもちて制定していくのか。また、検討段階でどのような過程を踏んでいく予定か。</p> <p>②子どもの安全について</p> <p>新たな学校づくりを進める上で、学校の登下校や学童の通所時の子どもの安全対策に関する考え方は。</p> <p>(3) わたしの“ココチよさ”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>①芹ヶ谷公園について</p> <p>芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムがオープンすると、訪れた人たちはどんな公園の過ごし方ができるのか。また、今後の整備によってどのように公園が変わっていくのか。</p>				

発言 順位	5	議席 番号	36	議員名	佐藤伸一郎 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>② 峠谷地区と旧埋立地の安全対策について</p> <p>最終処分場の峠谷地区と旧埋立地の公園整備にあたり、安全対策をどのように行っていくのか。</p> <p>③ 「(仮称) 町田木曾山崎パラアリーナ」の整備について</p> <p>新たな体育館をパラアリーナとした背景や市長の考えは。</p> <p>(4) 誰もがホッとできるまちをつくる取り組みについて</p> <p>① 町田市パートナーシップ宣誓制度について</p> <p>「町田市性の多様性の尊重に関する条例」において位置付けるパートナーシップ宣誓制度の導入の意義は。</p> <p>(5) みんなの“なりたい”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>① 「地域かがやき作戦本部」について</p> <p>「地域かがやき作戦本部」を立ち上げた市長の思いは。また、「地域かがやき作戦本部」における現在の推進体制や今後の展開は。</p> <p>② 「(仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設」について</p> <p>どのような考え方をもって整備を検討しているか。</p>				

選ばれる町田をつくる会（50分）

発言 順位	6	議席 番号	7	議員名	木目田英男 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
第7号	<p>(1) 2023年度予算は、どのような考え方を持って編成されたのか。あわせて、町田市5ヵ年計画22-26について、2023年度予算にどのように反映させたのか。また、公共施設再編等に向け、健全な財政運営を図るための中長期的な考え方は。</p>				
施政方針	<p>(1) 中小企業者等への経済的支援について 物価高騰に対して、市は中小企業者、事業者にどのように支援してきたのか。</p> <p>(2) 高齢者施策について 超高齢社会に対応していくための町田市の課題と、その課題に対する高齢者施策の考え方及び方向性は。</p> <p>(3) 「まちだの新たな学校づくり」について 改めて事業の意義は。</p> <p>(4) 中学校給食センターの整備について 民間事業者からの提案を踏まえて、中学校給食センターはどのような機能を有する「食の健康づくり拠点」となるのか、整備イメージは。また、今後の整備スケジュールは。</p> <p>(5) 多摩都市モノレール沿線地域のまちづくりについて 「まちの構造や機能を再設定するプロジェクト」の3つのエリアの整備は、それぞれどのようなまちづくりを進めていくのか。</p> <p>(6) 鶴川駅周辺のまちづくりについて 再整備により、鶴川駅周辺はどのように生まれ変わるのか。</p>				

発言 順位	6	議席 番号	7	議員名	木目田英男 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(7) 町田市バイオエネルギーセンター周辺について 最終処分場峠谷地区と旧埋立地は、基本計画をどのようなプロセスで策定していくのか。あわせて、忠生スポーツ公園の整備による町田市バイオエネルギーセンター周辺の魅力向上について、市長の考えは。</p> <p>(8) 行政経営の方向性について 経営品質の向上に関する市長の考えは。</p> <p>(9) デジタル化の推進について 2023年度に、行政手続きのオンライン化のほかに注力する取り組みは。</p> <p>(10) 公共施設再編について 「まちだの新たな学校づくり」に基づき、直近で予定している小学校の統合及び単独建替えについて、財政運営の観点から事業を支えていく方策は。</p>				

発言 順位	7	議席 番号	8	議員名	渡辺 巖太郎 (個人質疑)
議案番号	要 旨				
第14号	<p>(1) 町田市性の多様性の尊重に関する条例について伺います。</p> <p>①市民意見募集について問う。</p> <p>②条例で求める市民、事業者、教育に携わる者の役割等について問う。</p> <p>③制度導入の意義は。</p>				

日本共産党（45分）

発言 順位	8	議席 番号	33	議員名	細野龍子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(1) 5月から新型コロナの分類を「5類感染症」とする方針を決定したが、市民のいのちと暮らしを守るうえで、これまでの教訓を活かし、町田市の果たす役割について問う。</p> <p>(2) 光熱費や食料品といった生活必需品の物価高騰が、市民の暮らしや営業にもたらす影響について、市長の見解を問う。また、困っている方々に対して、どのような支援を行うのか。</p> <p>(3) 「(仮称)子どもにやさしいまち条例」について、策定までの間、当事者の子どもの声をどのように反映していくのか。また、困りごとやSOSを受け止める子どもオンブズパーソンの設置について、市長の見解を問う。</p> <p>(4) 児童相談所が町田市に設置される素案が示されたが、設置の内容と方向性について見解を問う</p> <p>(5) 「まちだの新たな学校づくり」による学校の統廃合は、学校規模を拡大し、通学区域を広域化する。子どもたちへの行き届いた教育や安心安全な生活を保障することが困難になると考えるが、見解を問う。</p> <p>(6) モノレールの起終点となる町田駅周辺全体の計画の内容、および費用予測について問う。</p> <p>(7) 市民の理解や合意のないまますすめられる芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム構想について</p> <p>①「町田の公園といえば芹ヶ谷公園」と言われるような公園になると考えるか、見解を問う。</p> <p>②整備費、管理運営費の総額はいくらになるのか。</p>				

発言 順位	8	議席 番号	3 3	議員名	細 野 龍 子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(8) 「住民の生命・身体及び財産を災害から保護する」公助の役割の今後の課題について、見解を問う。</p> <p>(9) 「町田市デジタル化総合戦略2022」において、「人手のかかるサービスデザイン」とはなにか。人手の必要なサービスに職員を増員し、だれもが豊かさを実感できる社会にすべきだがどうか。</p> <p>(10) 公共施設の再編にあたっては、市民や地域との話し合いを踏まえとあるが、これまで市民や地域の声を活かした計画になっているのか、見解を問う。</p>				

発言 順位	9	議席 番号	2 1	議員名	田 中 美 穂 (個人質疑)
議案番号	要 旨				
第20号	<p>(1) 条例改正により、保険税収入がいくら増え、被保険者への影響はどうなるのか。</p> <p>(2) 光熱水費・物価高騰など生活にかかる出費が増えている被保険者の生活状況についてどのように把握し、値上げの影響をどのように考えているか。</p> <p>(3) 出産育児一時金の増額について、財源の考え方を問う。</p>				

無所属（40分）

発言 順位	10	議席 番号	16	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針	<p>(1) 高齢化の進展によって老老介護や8050問題などが社会問題化している。どのように対応しているのか。</p> <p>(2) 市の責務として積極的に歳入を確保し、未来を見据えた的確な選択と投資を実行する必要があるとしているが、どのような考えか。</p> <p>(3) 災害における備えとして、屋外用テントを活用し、アウトドアと防災を融合した宿泊体験型の訓練も行うとあるが、内容は。</p> <p>(4) 2023年度は、市内の避難施設ごとの避難者数を再推計し、町田市地域防災計画を修正するとあるが、どのように進めていくのか。</p> <p>(5) 保健所機能の維持に向けた組織的な応援体制の構築やデジタル化など、関係機関と連携を図り対応してきたとあるが、内容は。</p> <p>(6) 「地域かがやき作戦本部」を立ち上げ、町内会・自治会の担い手不足などの困りごとの相談を受け付け、課題解決の後押しをしているとあるが、どのような施策か。</p> <p>(7) 市のデジタル化の取り組みについては、2022年度に、「Tokyo区市町村DX賞」や「マニフェスト大賞コミュニケーション戦略賞・優秀賞」を受賞するなど、各方面から高い評価をいただいたとあるが、取り組んできた内容は。</p>				

発言 順位	1 1	議席 番号	2 7	議員名	新井よしなお (個人質疑)
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第 7 号	歳出	1. 地域交通推 進事業	<p>(1) 予算概要説明書には「地域やバス事業者と協働した地域コミュニティバス等の運行や新たな地域交通の導入に向けた検討、バス事業者と連携したバス待ち環境の改善に取り組みます」との記載があるが、玉ちゃんバス南ルートに関する新たな取組や改善はどのようになっているか。</p> <p>(2) 利用する地域の市民の声をどのように聞き、反映し、今後活かしていくのか。</p>		

諸派（20分） ※他の諸派議員（おぜき重太郎議員、矢口まゆ議員及び中川幸太郎議員）より譲り受けた15分含む

発言 順位	12	議席 番号	32	議員名	熊沢あやり (個人質疑)
議案番号	要 旨				
第7号	(1) 令和5年度の予算編成の特徴は。				

第2回定例会

◎条例・その他

発言 順位	1	議席 番号	22	議員名	佐々木智子
議案番号	要 旨				
第52号	(1) 個人住民税関係の改正点と市民への影響は。				
発言 順位	2	議席 番号	16	議員名	松岡みゆき
議案番号	要 旨				
第53号	(1) 目的は何か。 (2) 内容は、どのようなものか。				
発言 順位	3	議席 番号	29	議員名	山下てつや
議案番号	要 旨				
第52号	(1) 固定資産税関係の改正点は。				

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	33	議員名	細野龍子
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第50号	歳出	教育支援センター拡充事業	<p>(1) 校内教育支援センターの目的、内容、算出根拠を問う。</p> <p>(2) 対象校はどのように選ばれたのか。</p> <p>(3) 人的配置及び人材確保についてどのように想定されているか。</p>		
発言 順位	2	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第50号	歳出	帯状疱疹ワクチン任意予防接種助成事業	<p>(1) 助成事業実施の経緯は。</p> <p>(2) 助成を受ける手続きは。</p> <p>(3) 利用者数の見込みは。</p> <p>(4) 市内指定医療機関の予定数は。</p>		
発言 順位	3	議席 番号	18	議員名	松葉ひろみ
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第50号	歳出	がん患者へのアピアランスケア支援事業	<p>(1) 事業導入の背景と目的は。</p> <p>(2) 算出根拠は。</p> <p>(3) 申請方法は。</p>		

第3回定例会

◎条例・その他

発言 順位	1	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	要 旨				
第85号	(1) 次期指定管理者候補者の構成。 (2) 対象施設に関して、前回と変更した点はあるか。 (3) どのような選定手続を採用したのか。 (4) 次期指定管理者候補者が選定された理由はなにか。				
第102号	(1) 直営方式時代と大きな変更点(改善点)はなにか。 (2) 応募者の数と事業者の構成はどのようなものがあったか。 (3) 市内の事業者に応募者はあったか、課題はなにか。				
第73号	(1) 改正の目的。 (2) 駐車料金について				

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	29	議員名	山下てつや
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第65号	歳出	1. ひとり親 家庭自立支援 費	高等職業訓練促進給付金 (1) 給付状況は。 (2) 増額の理由は。		
発言 順位	2	議席 番号	5	議員名	小野寺まなぶ
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第65号	歳出	1. 自転車用 ヘルメット購 入費補助事業	(1) 2023年4月1日から12月31日までの期 間とした根拠は。 (2) オンライン申請または郵送申請とは、 どのような内容か。 (3) 市内全域への早期周知の対応は。		

◎決 算

発言 順位	1	議席 番号	3 3	議員名	細 野 龍 子
議案番号	事業名	要 旨			
認定第3号	1. 医業収益	(1) 新型コロナ感染症の対応による影響は前年度と比べてどうか。 (2) 負担金交付金 内容は何か。			
	2. 医業費用	(1) 新型コロナ感染症の対応による影響は前年度と比べてどうか。			
	3. 医業外収益	(1) 国庫補助金 内容は何か。前年度より減額になっているが、理由は何か。 (2) 都補助金 内容は何か。前年度より減額になっているが、理由は何か。 (3) 負担金交付金 内容は何か。			
	4. 医業費用	給与費 (1) 給料 前年度より増額になっているが、理由を問う。 (2) 退職給付費 ①各科毎の退職した常勤医師（人事異動を除く）の人数と科の診療体制への影響について問う。 ②退職した常勤看護師の人数を問う。			

発言 順位	1	議席 番号	33	議員名	細野龍子
議案番号	事業名		要 旨		
認定第3号	5. 医業外費用		(1) 保育室運営費 前年度に比べて減額になっているが、 理由を問う。		
	6. 特別損失		(1) 過年度損益修正損 前年度に比べ、かなり増額になっているが、理由、内容について問う。		

第4回定例会

◎条例・その他

発言 順位	1	議席 番号	33	議員名	細野龍子
議案番号	要 旨				
第117号	<p>(1) 条例の名称を子どもにやさしいまち条例と定めた理由は何か。</p> <p>(2) 第3条から第6条に定められた子どもに保障される権利は何に基づいて選ばれたのか。</p> <p>(3) 子どもの意見表明に必要な機会はどのように保障されるのか。</p> <p>(4) 第18条の「子どもに関わる市の施策」とはどのようなものか。</p> <p>(5) 条例に基づく市の施策の推進・進捗状況の検証はどこがどのように行うのか。</p> <p>(6) 条例制定にあたり、第三者機関の設置は検討されたのか。</p> <p>(7) 条例の周知はどのようにすすめられるのか。</p>				
発言 順位	2	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	要 旨				
第117号	<p>(1) 条例で、「子どもにやさしいまち」と表記しているが、「子ども」と漢字とひらがなを混ぜた表記をした理由。</p> <p>(2) 第2条(1)で、子どもの定義として「18歳未満の者その他これらの者と等しく権利を認めることが適当であるとして市長が認める者」としているが、具体的にはどのような想定をしているのか。</p> <p>(3) 子どもの意見表明権については、どのように確保していくのか。</p> <p>(4) 本条例の遵守に関して、罰則を設定することは考えているか。</p>				

発言 順位	3	議席 番号	3 2	議員名	熊沢あやり
議案番号	要 旨				
第118号	(1) 目的は。 (2) 新設される「管理不全空家等」に該当したらどうなるか。 (3) 第10条に書かれている対策とはどのようなものか。				
発言 順位	4	議席 番号	2 2	議員名	佐々木智子
議案番号	要 旨				
第114号	(1) 改正の目的と内容は何か。 (2) 市民にとって、何がどう変わるのか。				

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	区分	事業名	要 旨		
第109号		1. 債務負担 行為補正 相原地区資源 ごみ施設整備 事業	<p>(1) 資源化施設整備費の減額の理由、経緯について</p> <p>(2) 相原地区資源ごみ施設整備事業の債務負担行為の廃止の理由。</p> <p>(3) 資源化施設整備済住民及び建設予定地の住民への説明内容について</p>		

(10) 一般質問の内容
第1回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	矢口まゆ	1. 保育施設において虐待行為や不適切保育について相談があった場合の市の対応について 2. 待機児童になった方々に対するシッター助成の実施について
2	加藤真彦	1. 中学校部活動について 2. 小学校給食における市内産農産物利用拡大に向けた取り組みについて 3. 第2次町田市食育推進計画について
3	森本せいや	1. 町田市版総合評価方式の在り方について 2. 真光寺長津田線（三輪地域～鶴川）の安全確保について 3. 市が行う指定管理者に対する適正な労働条件の確認について 4. ごみ収集の在り方について
4	村まつ俊孝	1. ロケ支援について 2. 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」について 3. デジタル田園都市国家構想に関する取り組みについて（その2）
5	若林章喜	1. 2023年度まちだの教育について 2. 次期町田市教育プランについて 3. 特殊詐欺から市民を守るには
6	佐藤和彦	1. 再生可能エネルギー・次世代エネルギーについて 2. スポーツ振興について 3. 動物愛護について
7	吉田つとむ	1. 市長のやる気について 2. 町田市の成人式（二十祭まちだ）の市長挨拶について 3. 町田市の成人、青年、若者についての理解と対応について 4. ちょこっと共済事業について 5. 町田センタービルの行方について
8	松葉ひろみ	1. 発達性読み書き障がい（ディスレクシア）について 2. 自殺対策について 3. 安心して安全な子育て環境の整備について 4. 高齢者の安心のために（その2）
9	三遊亭らん丈	1. 町田都市計画道路3・4・11号（原町田大通り）の延伸について 2. 終活支援（その2） 3. ロケ地先進都市を目指して 4. フードロス対策について
10	小野寺まなぶ	1. 下水道の地震・浸水対策について 2. 小山町・小山ヶ丘地域について 3. 相原・大戸地域のにぎわいについて

発言順位	氏名	質問事項
1 1	細野龍子	1. 子どもたちを一人も取り残さない学校を求めて 2. 障がい者医療の市内の受け皿の拡充を求めて 3. 下水道整備の促進を求めて
1 2	石川好忠	1. 境川クリーンセンター跡地の活用について 2. 関東大震災から 100 年目を迎えるにあたり、改めて市の震災対策について問う 3. 「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」について
1 3	東 友美	1. 性と生について（その7） 2. ハラスメント対策について 3. 保育園におけるおむつの取り扱いについて
1 4	熊沢あやり	1. 住居表示について 2. 市役所の正規職員と非正規職員について 3. 中学校給食について
1 5	松岡みゆき	1. 町田市バイオエネルギーセンターについて 2. 学校統廃合について 3. 少子化対策として、出生率を上げるための子育て支援について
1 6	おぜき重太郎	1. 相原駅東口駅前広場整備に伴う駅前拠点の整備について（その2） 2. 「夕焼け小焼け」作曲 100 周年を活用した相原のにぎわいづくりについて 3. 市立図書館の電子書籍サービスについて 4. 都外の医療機関で支払った医療費の助成制度について
1 7	新井よしなお	1. 保育所における使用済みおむつの持ち帰りについて 2. 飼い主のいない猫との共生モデル地区制度について 3. スクールソーシャルワーカーの増員について 4. パークミュージアム計画について
1 8	田中美穂	1. 小中学校給食の充実と保護者負担の軽減を求めて 2. 鶴川図書館の図書館としての存続を求めて 3. 父親への育児支援のさらなる拡充を求めて
1 9	笹倉みどり	1. 町田市生涯学習センターの充実を求めて 2. 困難な問題を抱える女性への支援について 3. 人工的な香りに含まれる化学物質から市民を守るために（香害について）
2 0	山下てつや	1. 官民連携について 2. コミュニティセンターにおける自主事業について 3. 小山田エリアのまちづくりについて
2 1	秋田しづか	1. 小学校給食調理室の暑さ対策について 2. 配慮が必要な児童生徒への支援について 3. 広報まちだの在り方について 4. 「ゼロカーボンシティまちだ」の宣言後の市民周知も含めた取り組みについて

発言順位	氏名	質問事項
22	渡辺巖太郎	1. 飲用に供する市内の井戸水について 2. 高齢者在宅サービスセンターについて 3. 外国人等の非居住者が所有する賃貸物件について
23	今村るか	1. 文化・芸術・社会教育施設等をどう活かすのかを問う
24	おんじょう由久	1. 帯状疱疹ワクチン接種の補助制度について（その2） 2. かかりつけ歯科医での歯科健診の習慣化について 3. 鶴川駅南口アクセス道路整備事業について 4. 道路境界の情報公開について（その2）
25	白川哲也	1. 2022年度包括外部監査「経済観光に関する財務事務の執行について」 2. 第4次町田市農業振興計画ならびに第4次町田市農業振興計画（改訂版）について 3. 町田市民病院の財政について
26	藤田 学	1. 消防団の社会的評価向上と活動しやすい処遇改善、環境整備を 2. 町田市生涯学習センターの目指す姿は 3. 忠生スポーツ公園のオープンに向けて
27	佐々木智子	1. 地域から学校が消える「学校統廃合問題」について問う 2. 新型コロナ感染症対策の継続・強化を求めて 3. 旧忠生6小跡地の健康増進関連拠点（体育館等）整備の進捗状況を問う
28	小野りゅうじ	1. 小山多摩境公園内、多摩境駅前交番の設置について 2. 相原町における地域交通の充実に向けて 3. マイナンバーカードの普及促進について 4. 町田市民の火葬について
29	(欠番)	
30	渡辺さとし	1. 多様な教育ニーズに対応する学校づくりに向けて 2. 子どもの食の充実に向けた取り組みについて
31	木目田英男	1. 町田市のデジタル化について 2. 市役所における生産性向上の取り組みについて 3. 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムについて

第2回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	若林章喜	1. 町田市のA I利活用について 2. 町田市のスタートアップ支援について
2	松葉ひろみ	1. 多子世帯支援について 2. 「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」を受けての不登校支援のさらなる推進について 3. 視覚障がい者の情報アクセシビリティ向上に向けて 4. デフリンピックを契機とした共生社会の推進について
3	佐藤和彦	1. 民間企業との包括連携協定について 2. 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために
4	渡辺さとし	1. 誰ひとり取り残されない学びの保障に向けて
5	小野寺まなぶ	1. (仮称) 町田市障がい者差別解消条例について 2. 防災・減災について 3. 認知症支援について 4. 自転車の交通安全について
6	加藤真彦	1. 町田薬師池公園四季彩の杜について 2. 多摩都市モノレール町田方面延伸路線について 3. 鶴川地区の道路整備について 4. 民地におけるナラ枯れについて
7	秋田しづか	1. 子どもの居場所について 2. 小中学校における医療的ケア児の受入れについて 3. 多様な働き方の促進と環境整備について 4. ゼロカーボンシティまちだについて
8	渡辺巖太郎	1. 町田市の高齢者施策について 2. 中心市街地について 3. 平和の尊さを将来にわたって引き継ぐための町田市の役割は
9	木目田英男	1. アフターコロナの街づくりについて 2. 公共空間の利活用について 3. 美術館について
10	おぜき重太郎	1. 「夕焼け小焼け」作曲 100 周年を活用した相原のにぎわいづくりについて (その2) 2. 「Nature Factory 東京町田」の更なる活用について 3. 相原駅及び多摩境駅のホームドアの設置について 4. 自転車用ヘルメット着用義務化に伴う市の助成について
11	佐々木智子	1. 新しい地域交通の進捗状況を問う 2. 公共施設のトイレにおける男女差と洋式化について問う 3. 特別障害者手当の周知の在り方と相談・申請窓口について問う 4. 市営住宅共用部のLED化について問う

発言順位	氏名	質問事項
1 2	中川幸太郎	1. デジタル化の取り組み 2. 待機児童について 3. 市立小学校の体育館利用について
1 3	細野龍子	1. マイナンバーカードについて問う 2. P F I 方式の小中学校施設整備、管理運営について問う 3. 猛暑から市民の命を守るために
1 4	笹倉みどり	1. 学校図書館について 2. サポートルーム（特別支援教室）について 3. 児童生徒が安心して受けられる学校健診の実施を求めて
1 5	田中美穂	1. 自転車のヘルメット購入補助について 2. 不登校対策について 3. 校則や生活のきまりの見直しについて 4. リニア中央新幹線の工事について 5. 多摩市での「世界平和統一家庭連合」（旧統一協会）の土地購入について
1 6	白川哲也	1. 町田市産業振興計画 19-28 について 2. 修繕等閉鎖中施設の運営費について
1 7	今村るか	1. インクルーシブ社会実現に向けた、市の考え方、取り組みを問う
1 8	石川好忠	1. 道路施設の維持管理について 2. 私道の管理について
1 9	森本せいや	1. 町田市内を活気づける公共事業であるためには 2. 障がい児・者への幅広い支援について 3. 鶴川地区の交通環境の改善について
2 0	小野りゅうじ	1. 安全・安心で魅力ある公園づくりに向けて 2. 子どものいじめ・悩み相談の更なる充実に向けて
2 1	吉田つとむ	1. 中学校修学旅行日程と高校文化祭開催日 2. ごみ出しの分別と廃プラスチックの分別について 3. 空き家対策、お金を使う方法と徴収する方法 4. 団地の建て替えと将来の在り方
2 2	三遊亭らん丈	1. 市民病院の病院運営について 2. 市へ提出する工事関連書類の負担軽減について 3. 森野住宅周辺地区まちづくりについて 4. 市立図書館の取組について
2 3	松岡みゆき	1. 町田市立図書館の勉強スペースについて 2. 高齢者在宅サービスセンターの指定管理について 3. 自転車利用の、交通安全都市町田を目指して 4. 町田市性の多様性の尊重に関する条例について
2 4	村まつ俊孝	1. アフターコロナの町田市のこれから 2. ジェネレーティブ A I の利活用について 3. 公立図書館の役割について

発言順位	氏名	質問事項
25	矢口まゆ	1. 健康と安全のために、小学生の通学時の負担軽減を！ 2. 水泳授業の準備における家庭の負担軽減を！ 3. 溺水事故の防止のために必要な教育を！ 4. 待機児童になった方々に必要な支援を！
26	藤田 学	1. 給食費の無償化について 2. 重症心身障がい児や医療的ケアが必要な子どもと家族が、地域で安心して心地よく暮らすために 3. 町内会・自治会について
27	殿村健一	1. 町田都市計画道路町田3・4・11号延伸事業について問う 2. 原町田大通り滞留空間等整備事業について問う 3. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う
28	東 友美	1. 自殺・精神疾患対策について（その2） 2. 投票率の向上を目指して（その3） 3. 学校飼育動物について（その2） 4. きょうだい児（障がい等のある兄弟姉妹がいる子ども）への支援について
29	山下てつや	1. 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」推進に向けて 2. 難病患者や家族の相談支援体制について 3. 市街化調整区域の区域区分変更について 4. 公民連携による忠生地域のまちづくりについて
30	おく栄一	1. 公立小中学校での給食用牛乳について 2. 男性へのHPVワクチンの推進について 3. 誰もが投票しやすい環境づくりを求めて
31	新井よしなお	1. スクールソーシャルワーカーの活用について 2. 消防団について 3. 公立小中学校における教育の現状について 4. パークミュージアム計画について 5. 町田 GION スタジアムの改善点について
32	おんじょう由久	1. （仮称）子どもにやさしいまち条例について 2. 保育園の待機児童と定員割れの対策について 3. 公共交通の充実について 4. 南町田駅前連絡所閉所後の市民サービスについて 5. 公園緑地への指定管理制度導入について
33	熊沢あやり	1. 本町田のまちづくり、およびそれを取り巻く環境について 2. 町田駅前バリアフリー化について

第3回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	吉田つとむ	1. 消費生活センターの今後の事業は 2. 芹ヶ谷公園の日本三大桜は来年も無事に開花しそうか 3. 小野路球場の鳴り物はいつの間に禁止になったのか 4. 町田市の他自治体への災害支援の成果について 5. まちだテクノパークの企業と町田市の連携はあるのか
2	加藤真彦	1. 学校給食について 2. 町田市の農業について
3	佐々木智子	1. 「いのちに関わる危険な暑さ」対策を問う 2. (仮称) 町田市いきいき長寿プラン 24-26 の策定に向けて 3. 中学校給食センターの整備運営について問う
4	小野寺まなぶ	1. 防災・減災について (その2) 2. 地域の安全を守る取組の推進について 3. 忠生 579 号線について
5	森本せいや	1. 「2024 年度市政運営の基本的な考え方」について 2. 「令和 6 年度 (2024 年度) 予算編成方針」について 3. 公共事業における市内経済の活性化について 4. 多摩産材の活用について
6	渡辺さとし	1. タクシーアプリの普及について 2. 自衛隊に個人情報提供を望まない市民への配慮について 3. 不登校児童・生徒ゼロに向けて(2) 4. ホームタウンチームと観光政策について
7	細野龍子	1. 学校給食費無償化実施を求めて 2. 加齢性難聴の補聴器購入費の補助制度を求めて 3. 「南町田拠点創出まちづくり」のその後について 4. 子ども食堂に対する支援について
8	藤田 学	1. 誰一人取り残さない人に優しいデジタル社会の実現について 2. 子どもにやさしいまちづくりの実行と具現化について 3. 農免道路 (忠生 441 号線) の安全対策と今後の整備の方針について
9	三遊亭らん丈	1. 市内建設業者への優先発注について 2. ヤングケアラーについて-その3 3. 町田市における生成 A I の導入に向けての検討状況を問う
10	木目田英男	1. 建築物としての公共施設について 2. Maa S について
11	新井よしなお	1. スクールソーシャルワーカーの活用と関係機関との連携について 2. パークミュージアム計画について

発言順位	氏名	質問事項
12	秋田しづか	1. 鶴川地区新たな学校づくりに関する市民とのコミュニケーションの在り方について 2. 新たな学校づくりにおけるZEB化について 3. 審議会等の会議の公開について 4. 子ども食堂の周知について
13	佐藤伸一郎	1. 市職員の人材育成について 2. 宅地造成及び特定盛土等規制法について
14	白川哲也	1. 令和6年度(2024年度)予算編成方針について 2. 町田市の産業支援の取り組みについて 3. 市庁舎でのキッチンカーの実証実験について
15	笹倉みどり	1. 循環する暮らしを目指したプラスチックごみ削減について 2. 自分たちがまちをつくっていると感じられる市民参画を推進するために
16	松葉ひろみ	1. 移転後の町田市子ども発達センターについて 2. プレコンセプションケアについて 3. 中学校区ごとの「医療的ケアの実施拠点校」の設置について
17	松岡みゆき	1. 未就学児の子育て支援について 2. 終活課題「エンディングプラン・サポート事業」について(その2)
18	中川幸太郎	1. 喫煙について 2. ふるさと納税について 3. (仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備事業について 4. 狭い道路の整備について 5. 空き家対策について
19	田中美穂	1. 「新たな学校づくり推進計画」(学校統廃合)について 2. 鶴川駅周辺再整備事業について 3. 高齢者指定収集袋減免(ごみ袋配付)事業について
20	山下てつや	1. (仮称)町田木曾山崎パラアリーナ整備について 2. 子ども・若者総合相談について 3. 北部丘陵における諸課題について 4. 七国山地域の魅力向上について
21	渡辺巖太郎	1. 小山田子どもクラブ「ゆめいく」周辺道路の安全について 2. 小中学校のプールについて
22	熊沢あやり	1. 新たな学校づくりについて 2. 夏のスポーツ環境について
23	村まつ俊孝	1. 町田市におけるデータ利活用について 2. 高齢者の安全、安心のために
24	小野りゅうじ	1. 飼い主のいない猫との共生モデル地区制度の充実に向けて 2. コンビトイレの公共化について(その2) 3. 6月3日に相原橋付近で発生した土砂災害について

発言順位	氏名	質問事項
25	おく栄一	1. 透析予防のための糖尿病治療中断者受診勧奨事業について 2. 三輪の緑の拠点・核づくりについて
26	矢口まゆ	1. 児童生徒、保護者の声を最大限に活用した学校運営を！ 2. 被害者が安心して学校に通えるいじめ対応を！ 3. 熱中症の予防と緊急対応に万全の備えを！
27	今村るか	1. 特色ある街づくりの推進
28	東 友美	1. 学校・学童保育クラブ統廃合について 2. 子育て・子育て支援について 3. 犯罪から若者を守るために 4. 郵便ポストへの情報掲示について
29	殿村健一	1. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 2. 多摩都市モノレール町田方面延伸事業について問う 3. 森野住宅周辺地区まちづくり構想について問う 4. 町田消防署前、本町田小学校隣接地で起きた交通事故と安全対策について問う
30	おぜき重太郎	1. マイナンバー情報総点検に係る町田市の取り組みについて 2. 道路上の雑草による通行の危険性について 3. 国道 16 号八王子バイパス相原インターチェンジの通行止めに伴う市民生活への影響について 4. 市内小学校のスクールバスの導入について
31	おんじょう由久	1. G I G A スクール構想の進捗について 2. 若者の就業を支える取り組みについて 3. 子ども食堂への支援について
32	若林章喜	1. 町田市教育プラン 24-28 について 2. 人材育成について 3. 認知症とともに生きるまちづくりについて

第4回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	田中美穂	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「新たな学校づくり推進計画」（学校統廃合）について 2. 燃やせるごみ削減のさらなる取り組みを求めて 3. 「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」について 4. 子どもたちの居場所「冒険遊び場」の充実を求めて
2	おぜき重太郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 買物空白地区における移動販売の導入支援について 2. 「夕焼け小焼け」作曲 100 周年を活用した相原のにぎわいづくりについて（その3） 3. クマの目撃情報に関する市の対策について
3	中川幸太郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. ごみの資源化について 2. 南大谷地域の道路について 3. 認知症施策について
4	加藤真彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第6期町田市国民健康保険事業財政改革計画について 2. 少子化時代の学校再編について 3. Jリーグクラブと町田市による「まちづくり」について
5	石川好忠	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「町田市（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業」について 2. 町田市立総合体育館の今後について 3. 「町田市景観計画」の改定について
6	三遊亭らん丈	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中心市街地のまちづくりについて－令和4年第4回定例会につづいて 2. 死後の手続きをより円滑にするために 3. 公立中学校の部活動の地域移行について
7	吉田つとむ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道路面の新設・改修工事材料について 2. 幼稚園の園数と幼稚園児数について 3. 障害者給付と介護保険適用の留意事項に係る令和5年6月30日付け厚労省の事務連絡内容について 4. 町田市の窓口における市民対応について
8	細野龍子	<ol style="list-style-type: none"> 1. （仮称）子ども・子育てサポート等複合施設について 2. 新たな学校づくりにおけるPFI手法の見直しを求めて 3. 障がい者青年学級の今後の在り方について
9	おんじょう由久	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物価高騰や人材不足等の環境下における予算遂行について 2. 介護予防について 3. こども誰でも通園制度（仮称）について 4. 投票し易い環境づくり

発言順位	氏名	質問事項
10	佐々木智子	1. 孤立・孤独を生まない支えあえる地域づくりを求めて 2. 自治体職員等への婦人科検診の実施を求めて 3. PFI手法の中学校給食センター整備事業について問う 4. 町田市バイオエネルギーセンターの火災について問う
11	佐藤和彦	1. 多摩都市モノレール町田方面延伸について 2. 認知症基本法でかかげる認知症施策について
12	木目田英男	1. 町田市デジタル化総合戦略2022の改定について 2. 容器包装プラスチックの資源化について 3. 公共施設におけるWi-Fi設置について
13	渡辺さとし	1. 鶴川駅再整備事業について 2. 町田市バイオエネルギーセンターの火災について 3. 町田市役所の障がい者雇用について
14	村まつ俊孝	1. 中心市街地について 2. 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」について(その2) 3. 総務省の「多様な広域連携促進事業」について(その2) 4. デジタル地域通貨について
15	渡辺巖太郎	1. ゼルビア試合時の鶴川駅に快速急行・急行の臨時列車を求め 2. クリーニング付き歯科健診を実施すべきと考えるが 3. 厳しい財政難を抜本的に打破するため、革新的な研究を「町田市未来づくり研究所」で行うべきと考えるが
16	今村るか	1. 「精神疾患」メンタルヘルスに対する市の取り組みを問う 2. 「ゼロカーボンシティまちだ」の取り組みを問う 3. チルドレンファーストのまちづくりについて
17	若林章喜	1. 生成AIの町田市役所全職員活用について 2. 市内経済の活性化に向けて 3. コミュニティ・スクールについて
18	笹倉みどり	1. 町田市第二次野津田公園整備基本計画について 2. 人工芝について
19	矢口まゆ	1. 校則および学校の独自ルールについて 2. 登下校における負担軽減と安全の確保について 3. 必要とされる際にスムーズに出席停止が行われる環境整備について
20	小野寺まなぶ	1. 相原地域の街づくりについて 2. 公共工事の発注について 3. アスベスト処理対応について
21	おく栄一	1. 市民病院の第4次中期経営計画の進捗について 2. 市内商店街活性化について 3. 男性HPVワクチン推進について その2
22	藤田 学	1. ごみ減量と資源化等の取組について 2. 在宅医療・介護の充実を求めて 3. 障がい者への就労支援と大学等修学支援を求めて

発言順位	氏名	質問事項
23	新井よしなお	1. パークミュージアム計画について
24	佐藤伸一郎	1. まちだ未来づくりビジョン 2040 の実現に向けた財政運営について 2. 堺地区における道路整備について
25	秋田しづか	1. (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事について 2. 子育て支援について 3. 若者のひきこもり支援に対する市の取り組みについて 4. 町田リス園について 5. 第3次町田市環境マスタープランについて 6. 小学校給食調理室の暑さ対策について
26	白川哲也	1. 産業支援施設の複合化について 2. 町田市の広報活動について 3. 旧食堂の活用方法について
27	熊沢あやり	1. 新たな学校づくりについて 2. みるスポーツ・するスポーツについて 3. 町田市の空き家の状況について
28	松葉ひろみ	1. 多子世帯支援について (その2) 2. 保育所等における多子世帯負担軽減について 3. 高校生等の医療費助成の所得制限撤廃について 4. 高齢者の安心のために (その3) 5. 視覚障がい者の同行援護について
29	小野りゅうじ	1. 町田市庁舎におけるクールビズ・ウォームビズについて 2. 高齢者等の移動困難者への買い物支援について 3. 町田市における消費者教育の更なる充実に向けて
30	山下てつや	1. 町田市バイオエネルギーセンター内で発生した火災について 2. 忠生スポーツ公園について 3. 障がい者グループホームについて 4. 空家対策の現状とこれからについて
31	殿村健一	1. 国民健康保険事業について問う 2. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 3. 町田消防署前、本町田小学校隣接地及び店舗駐車場前の交通安全対策について問う
32	東 友美	1. 学校・学童保育クラブ統廃合について (その2) 2. こどもの貧困対策について (その2) 3. 障がいのある人への合理的配慮について 4. 入院助産について 5. 生活保護受給者のマイナンバーカード利用について
33	森本せいや	1. 『にぎわいとみどりの都市拠点』鶴川駅周辺の発展について 2. 鶴川駅～町田市立陸上競技場周辺の交通環境の改善について 3. 町田市の子育て環境について 4. 市内小中高生への主権者教育及び選挙啓発について

4. 委員会の概要

(1) 各委員会の開催状況

委 員 会 名	開催日数	付 託 案 件			付 託 案 件 (参考送付含む)	行政報告	行政視察 (自治体数)
		議 案	請 願	陳 情			
総務常任委員会	8	23	1	0	21	4	
健康福祉常任委員会	9	48	2	1	25	3	
文教社会常任委員会	12	29	12	1	47	3	
建設常任委員会	9	44	2	0	39	4	
議会運営委員会	25	0	0	0	0	2	
第17期町田市議会改革調査 特別委員会	10	0	1	0	0	0	

5. その他の会議の概要

(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況

委 員 会 名	開催日数
全員協議会	2
災害対策委員会	1

6. 会議の傍聴者

(1) 令和5年傍聴者数

会期別	本会議	総務 常任委員会	健康福祉 常任委員会	文教社会 常任委員会	建設 常任委員会	議会運営 委員会	第17期 町田市議会改革 調査特別委員会	全員 協議会	災害対策 委員会
第1回 定例会	74	2	8	63	12	0	0	1	-
第2回 定例会	80	10	1	42	1	15	0	0	-
第3回 定例会	58	2	10	45	0	0	0	0	-
第4回 定例会	92	0	7	28	5	0	2	0	-
第1回 臨時会	28	-	-	0	28	0	-	-	-
会期外	-	-	-	-	-	0	0	-	0
計	332	14	26	178	46	15	2	1	0

7. 視察受入団体一覧

月 日	来訪団体名	人数	視 察 事 項
1月13日	山梨県市議会議長会局長事務局長及び事務局職員視察研修会	20	議会改革の取り組み状況について
1月16日	加賀市議会	13	議会改革の取組について
1月19日	宮古島市議会	10	議会運営（タブレット活用等）について
1月25日	三条市議会	11	議会運営及び議会活性化の取組について
1月26日	柏原市議会	10	「町田市立学校温水プール」について
1月27日	利府町議会	6	ごみ問題について
1月30日	黒部市議会	9	・タブレット端末導入・ペーパーレスの取り組みについて ・議会改革（議会関心度向上）の取り組みについて
1月31日	北上市議会	12	議会運営について
2月1日	春日市議会	4	都市公園におけるキッチンカーの出店について
2月3日	広島県府中市議会	14	議員間討議、委員会付託等活発な議論の方法について
2月7日	湖南省議会	10	議会運営全般について
2月8日	八代市議会	12	議会ICT化について
2月20日	日野市議会	2	町田市バイオエネルギーセンターについて
4月25日	今治市議会	11	議会運営・議会改革について
5月9日	箕面市議会	10	・議案のカルテについて ・高校生との意見交換会について
5月10日	岩国市議会	8	市民参加型事業評価の取組について
5月11日	米子市議会	4	まちだ未来づくりビジョン2040（認知症施策）及び町田リス園について
5月12日	三田市議会	8	認知症施策、「Dカフェ」について
5月16日	川西市議会	10	・町田子ども発達センターの現地視察 ・ひかり療育園の民営化について

月 日	来訪団体名	人数	視 察 事 項
5月17日	戸田市議会	7	町内会・自治会活動の支援について
5月19日	倉吉市議会	4	デジタル町内会「いちのいち」について
5月24日	広島県安芸郡府中町議会	8	町田市バイオエネルギーセンターについて
5月25日	北見市議会	12	議会改革（活性化）について
6月29日	富津市議会	12	議会運営・議会改革及び議会の情報共有・住民参画について
7月14日	茨木市議会	3	南町田グランベリーパークについて
7月27日	鈴鹿市議会	8	職員の災害対応能力向上のための図上訓練について
8月3日	豊田市議会	6	下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）について
8月4日	豊川市議会	10	認知症フレンドリーなまちづくりについて
8月7日	八王子市議会	1	・行政によるサポート 農業振興及び農地相続・事業承継について ・教職員の働き方改革について
8月10日	奈良市議会	3	バイオエネルギーセンターの運営について
8月17日	愛媛県議会、松山市議会、川越市議会、所沢市議会、三鷹市議会	7	バイオエネルギーセンターについて
10月13日	松江市議会	8	認知症施策について
10月17日	舞鶴市議会	4	循環型社会実現に向けた取組について
10月31日	湯梨浜町議会	6	「高校生と議員の意見交換会」の取組み等について
11月1日	八尾市議会	7	認知症フレンドリーなまちづくりについて
11月2日	多摩ニュータウン環境組合議会	9	バイオエネルギーセンターについて
11月7日	寒河江市議会	7	議会改革（活性化）の取り組みについて
11月8日	沖縄市議会	12	議会改革の取り組みについて
11月9日	武雄市議会	7	議会運営・議会改革について
11月14日	釧路市議会	3	認知症カフェDカフェについて

月 日	来訪団体名	人数	視 察 事 項
11月15日	福知山市議会	12	議会運営全般について・議会改革の取り組みについて
11月16日	かほく市議会	8	議会改革の取組について
11月20日	札幌市議会	6	自治体間ベンチマーキングについて
11月21日	大野城市議会	8	デジタルミュージアムについて
合計		362	

8. 会期外の主な動き

諸 報 告

議 会 活 動 状 況

自 2022年 12月 24日
至 2023年 2月 20日

- 12月 29日 ・ 町田市消防団歳末特別警戒が実施され、議長が出席。
- 1月 4日 ・ 町田市役所仕事始め式が、町田市役所で開催され、議長・副議長が出席。
- 5日 ・ 町田商工会議所新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 6日 ・ 東京消防出初式が、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場で開催され、副議長が出席。
・ 南大沢警察署武道始式が、南大沢警察署で開催され、議長が出席。
- 7日 ・ 第9回新春いけばなの集いが、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、議長が出席。
・ 町田警察署武道始式が、町田警察署で開催され、議長が出席。
・ 町田市医師会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 8日 ・ 町田市消防団出初式が、町田シバヒロで開催され、議長が出席。
・ 第10回新春茶会が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、議長が出席。
- 10日 ・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会正副委員長会議が、町田市議会で開催され、議長・委員が出席。
- 11日 ・ 町田青年会議所賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 14日 ・ 町田市歯科医師会新春の集いが、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 15日 ・ 町田市少年少女発明クラブ第16回アイデアものづくりコンテスト表彰式が、ぽっぽ町田で開催され、議長が出席。
・ 町田華道協会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 16日 ・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会が、東京自治会館で開催され、議長・委員が出席。
- 17日 ・ 町田市商店会連合会新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 18日 ・ 町田市民病院内視鏡手術支援ロボット見学会に、議長・副議長・議員が出席。
- 20日 ・ 議会運営委員会を開催。

- 1月 20日 ・ 原町田六丁目町内会六生会賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 21日 ・ 東京都行政書士会町田支部・東京行政書士政治連盟町田支部新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 22日 ・ ASVペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
- 23日 ・ 東京都三多摩地区消防運営協議会役員会・第二部会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
- ・ 町田労働基準協会新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、副議長が出席。
- 24日 ・ 町田市中央地区商業振興対策協議会新春の集いが、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 25日 ・ 町田パークアベニュー商店会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 26日 ・ 東京都市公平委員会関係団体協議会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
- ・ 令和5年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会が、区政会館で開催され、広域連合議会議員が出席。
- 28日 ・ 町田市文化協会新年賀詞交歓会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 30日 ・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
- ・ 町田茶道会新年会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 31日 ・ 南多摩市議会議長会第2回総会が、八王子市役所で開催され、議長が出席。
- 2月 1日 ・ 議会運営委員会が、行政視察を実施。（取手市、豊田市）
- ～
- 2日
- 1日 ・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
- 3日 ・ 町田市立第三小学校創立70周年記念式典が、市立第三小学校で開催され、議長が出席。
- ・ 令和5年第1回南多摩斎場組合議会定例会が、忠生市民センターで開催され、組合議会議員が出席。
- 4日 ・ 第23回まちだ男女平等フェスティバルが、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。
- ・ 第4回鶴川市民センターまつり開会式が、鶴川市民センターで開催され、副議長が出席。
- ・ ことばらんどショートショートコンクール2022表彰式が、町田市生涯学習センターで開催され、議長が出席。
- 6日 ・ 第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催。
- ・ 第61回東京都市議会議員研修会が、府中の森芸術劇場で開催され、議長・副議長・議員が出席。

- | | | |
|----|-----|---|
| 2月 | 8日 | ・南多摩市議会議長会による鉄道事業等の整備促進に関する要請行動が実施され、議長が出席。 |
| | 11日 | ・第41回町田市郷土芸能まつりが、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
・第20回アクサブレイブカップブラインドサッカー日本選手権FINALラウンドが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。 |
| | 13日 | ・令和5年第1回東京都十一市競輪事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
・令和5年第1回東京都六市競艇事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。 |
| | 14日 | ・議会運営委員会を開催。
・令和5年第1回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
・町田市技能功労者・永年勤続従業員表彰式典が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。 |
| | 16日 | ・東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
・第64回東京都農業委員会・農業者大会受賞者祝賀会が、月亭で開催され、議長が出席。 |
| | 19日 | ・FC町田ゼルビア2023明治安田生命J2リーグ・開幕戦が、町田GIONスタジアムで開催され、議長が出席。 |
| | 20日 | ・令和5年第1回東京たま広域資源循環組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。 |

諸 報 告

議 会 活 動 状 況

自 2023年 3月 30日
至 2023年 6月 4日

- 3月 30日
- ・ 令和5年第1回東京都十一市競輪事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
 - ・ 令和5年第1回東京都六市競艇事業組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
- 4月 1日
- ・ 2023町田さくらまつり尾根緑道会場開会式が、常盤公園で開催され、副議長が出席。
 - ・ 2023町田さくらまつり芹ヶ谷公園会場開会式が、芹ヶ谷公園で開催され、議長が出席。
 - ・ 2023町田さくらまつり交流都市歓迎セレモニーが、芹ヶ谷公園で開催され、議長・副議長が出席。
 - ・ 2023町田さくらまつり交流市町村昼食会が、月亭で開催され、議長・副議長が出席。
- 2日
- ・ 2023年度町田市民春季軟式野球大会開会式が、町田市民球場で開催され、議長が出席。
 - ・ 町田市民春季ソフトボール大会開会式が、町田市民球場で開催され、議長が出席。
- 8日
- ・ 町田デザイン&建築専門学校令和5年度入学宣誓式が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
 - ・ 建築家 隈研吾氏講演会・懇談会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
- 14日
- ・ 第76回都民体育大会春季大会「出場選手結団式」が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
- 16日
- ・ 町田市少年少女発明クラブ第19期開講式が、町田市健康福祉会館で開催され、副議長が出席。
- 17日
- ・ 2023年度東京都赤十字協賛委員町田市地区協議会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
- 18日
- ・ ボワ・すみれ福祉会後援会『総会』が、町田市バイオエネルギーセンターで開催され、副議長が出席。
- 19日
- ・ 議会運営委員会を開催。
 - ・ 第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催。
 - ・ 議員研修会『ハラスメント防止研修～基礎知識から解決のための取り組みまで～』を開催。
- 23日
- ・ 令和5年度町田消防少年団卒入団式が、町田消防署で開催され、議長が出席。

- 4月 23日
- ・ 令和5年度町田消防少年団懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
 - ・ 第54回町田市青少年の日スポーツ柔道大会が、市立総合体育館で開催され、副議長が出席。
 - ・ 町田フィルハーモニー交響楽団「荒谷俊治メモリアルコンサート」が、町田市民ホールで開催され、副議長が出席。
- 25日
- ・ 東京都市議会議長会臨時総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
- 29日
- ・ 西園にて新緑と楽しむ茶会が、町田薬師池公園四季彩の杜西園で開催され、議長が出席。
- 5月 7日
- ・ 2023年町田市表彰式が、町田市文化交流センターで開催され、議長・副議長が出席。
 - ・ 第37回フェスタまちだ2023開会式が、原町田大通りで開催され、議長が出席。
 - ・ 第37回フェスタまちだ2023沖縄市青年団協議会歓迎会が、町田市文化交流センターで開催され、議長が出席。
- 9日
～
- ・ 健康福祉常任委員会が行政視察を実施。（小牧市、草津市、津市）
- 11日
- 11日
- ・ 令和5年「春の全国交通安全出陣式」が、八王子市中郷公園で開催され、議長が出席。
- 12日
- ・ 町田地区更生保護女性会総会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
 - ・ 町田市老人クラブ連合会第60回定期総会が、わくわくプラザ町田で開催され、議長が出席。
 - ・ 自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会町田支部懇親会が、でんかで開催され、議長が出席。
- 13日
- ・ 第51回山菜まつりが、川上村高登谷高原野外ステージで開催され、議長が出席。
 - ・ 2023年度町田市立中学校PTA連合会第65期定期総会が、町田市文化交流センターで開催され、副議長が出席。
- 15日
- ・ 第44回町田市戦没者遺族会総代会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
- 16日
- ・ 2023年度「春の全国交通安全運動」街頭活動に、議長・副議長が表敬訪問。
 - ・ 2023年度第1回町田市防災会議が、町田市役所で開催され、議長・各常任委員長・災害対策委員長が出席。
- 17日
- ・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議が、日野市議会で開催され、委員が出席。
- 21日
- ・ 吉川庄衛氏旭日双光章受賞を祝う会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
 - ・ 町田市身体障害者福祉協会令和5年度65周年総会が、町田市健康福祉会館で開催され、議長が出席。
 - ・ 町田市町内会・自治会連合会2023年度定期総会が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。

- | | | |
|----|-----|---|
| 5月 | 22日 | ・ 令和5年度町田防火防災協会・町田危険物安全協会・町田防火管理者研究会合同懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。 |
| | 23日 | ・ 第60回町田市知的障がい者育成会定期総会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。 |
| | 24日 | ・ 町田商工会議所との懇談会が、第4委員会室で開催され、総務常任委員が出席。 |
| | 25日 | ・ 第41回町田市主催女子ゲートボール大会が、木曽山崎グラウンドで開催され、副議長が出席。
・ 町田木曽住宅コミュニティー型生活サービス拠点開所式が、ネコサポステーション町田木曽で開催され、議長が出席。
・ 第89回関東市議会議長会定期総会が、水戸プラザホテルで開催され、議長が出席。 |
| | 26日 | ・ 町田市観光コンベンション協会2023年度懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
・ 令和5年度町田市消防団歓送迎会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。 |
| | 27日 | ・ ASVペスカドーラ町田ホーム開幕戦が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。 |
| | 29日 | ・ 議会運営委員会を開催。
・ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
・ 第61回三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会が、東京自治会館で開催され、議長・委員が出席。
・ 全国自治体病院経営都市議会協議会第51回定期総会が、都市センターホテルで開催され、副議長が出席。 |
| | 30日 | ・ 東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。 |
| 6月 | 4日 | ・ 町田市吟詠連盟創立55周年記念吟詠大会が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。 |

諸 報 告

議 会 活 動 状 況

自 2023年 6月 29日
至 2023年 8月 28日

- 6月 29日 ・ 町田市商店会連合会第72回定期総会が、町田商工会議所会館で開催され、議長が出席。
- 7月 1日 ・ 町田ダリア園開園式が、町田ダリア園で開催され、議長が出席。
- 4日 ・ 文教社会常任委員会が行政視察を実施。（神崎市、武雄市、大村市）
～
- 6日
- 7日 ・ 町田市立南大谷小学校開校50周年記念式典が、市立南大谷小学校で開催され、議長が出席。
- ・ 第55回東京都町村総合体育大会春季大会「出場選手結団式」が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
- 8日 ・ 町田市消防団幹部視察研修が、立川市外で開催され、議長・災害対策委員長が出席。
～
- 9日
- 9日 ・ 第17回ジュニア育成地域推進事業柔道競技会兼第36回町田市小・中・高等学校柔道大会が、市立総合体育館で開催され、副議長が出席。
- ・ 明治安田生命J2リーグ第25節・東京ヴェルディ戦が、国立競技場で開催され、副議長が出席。
- 11日 ・ 建設常任委員会が行政視察を実施。（江東区、浦添市、那覇市、沖縄市）
～
- 13日
- 13日 ・ 令和5年度小田急多摩線延伸促進協議会総会が、相模原市民会館で開催され、副議長が出席。
- 15日 ・ 小山田子どもクラブ「ゆめいく」開所式が、小山田子どもクラブ「ゆめいく」で開催され、副議長が出席。
- 17日 ・ ASVペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、副議長が出席。
- 18日 総務常任委員会が行政視察を実施。（熊本県、熊本市、福岡市、倉敷市）
～
- 20日
- 21日 ・ 議会運営委員会を開催。

- 7月 21日
- ・令和5年第1回東京たま広域資源循環組合議会臨時会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。
 - ・令和5年第2回東京都十一市競輪事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
 - ・令和5年第2回東京都六市競艇事業組合議会臨時会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
- 24日
- ・第42回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会、第55回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会合同総会が、パレスホテル立川で開催され、議長・建設常任委員長が出席。
- 25日
- ・令和5年第1回多摩ニュータウン環境組合議会臨時会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
- 26日
- ・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
 - ・令和5年第1回南多摩斎場組合議会臨時会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。
 - ・南多摩市議会議長会総会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
- 28日
- ・まちだくらしフェア2023が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。
 - ・「第73回 社会を明るくする運動」町田大会が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。
- 30日
- ・第44回観蓮会が、薬師池公園で開催され、議長・副議長が出席。
 - ・ASVペスカドーラ町田ホームゲームが、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
- 7月 31日
～
- 8月 2日
- 8月 1日
- ・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
 - 3日
 - ・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。
 - ・東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。 - 4日
 - ・町田市都市農政推進協議会第52回通常総会が、町田市農業協同組合JA町田ビルで開催され、副議長が出席。 - 6日
 - ・第37回成瀬まつりが、成瀬駅前広場で開催され、議長が出席。 - 9日
 - ・第105回全国高等学校野球選手権記念大会が、阪神甲子園球場で開催され、日本大学第三高等学校を議長が激励。
 - ・夏休み子どもフェアが、町田市役所で開催され、副議長が出席。 - 10日
 - ・第61回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会が、調布市グリーンホールで開催され、議長・議員が出席。

- 8月 14日 ・ 第105回全国高等学校野球選手権記念大会が、阪神甲子園球場で開催され、日本大学第三高等学校を副議長が激励。
- 18日 ・ 第76回都民体育大会及び第55回東京都市町村総合体育大会選手団合同解団式が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
- 22日 ・ 議会運営委員会を開催。
- 25日 ・ 東京都建築士事務所協会町田支部令和5年度納涼会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。
- 26日 ・ 南大谷子どもクラブ夏祭りが、南大谷子どもクラブで開催され、議長が出席。
- ・ ホストタウンシネマ「くじらびと」上映会が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、副議長が出席。
- 27日 ・ 第47回全国町田ピアノコンクールが、町田市民ホールで開催され、議長が出席。

諸 報 告

議 会 活 動 状 況

自 2023年 9月 30日
至 2023年 11月 28日

- 10月 1日 ・ 小野路宿里山交流館開館10周年記念式典が、小野路宿里山交流館で開催され、議長が出席。
- 3日 ・ 議員研修会『市民の議会～町田市議会が目指す議会とのギャップを埋めよう！』を開催。
- 8日 ・ 相原ふれあいフェスティバル2023 20周年記念大会が、相原中央公園で開催され、副議長が出席。
- 10日 ・ 令和5年度（2023年度）南多摩ニュータウン協議会東京都への要請行動が、新宿NSビルで開催され、議長が出席。
- 11日～
13日
- 12日 ・ 第28回町田市主催シルバー親善ゲートボール大会が、木曾山崎グラウンドで開催され、健康福祉常任委員会委員長が出席。
- 14日 ・ 2023成瀬コミュニティセンターまつりが、成瀬コミュニティセンターで開催され、副議長が出席。
- ・ 町田華道協会70周年記念祝賀会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、副議長が出席。
- ・ 第5回鶴川市民センターまつりが、鶴川市民センターで開催され、副議長が出席。
- 15日 ・ 第66回町田市民体育祭柔道大会が、市立総合体育館で開催され、文教社会常任委員会委員長が出席。
- 20日 ・ 町田市老人クラブ連合会第22回グラウンドゴルフ大会が、木曾山崎グラウンドで開催され、副議長が出席。
- ・ 東京都立小川高等学校と町田市議会議員の交流授業が、都立小川高等学校で開催され、議長・議員が出席。
- ・ 町田市立鶴川第二中学校創立50周年記念式典が、市立鶴川第二中学校で開催され、議長・副議長が出席。
- ・ 秋季企画展「生誕100年 遠藤周作展—ミライを灯すことば」内覧会が、町田市民文学館で開催され、議長が出席。
- 21日 ・ 「第5回なるせ駅前市民センターまつり」開会式が、なるせ駅前市民センターで開催され、議長が出席。

- | | | |
|-----|------|--|
| 10月 | 21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第25回ゆうゆう版画美術館まつりが、市立国際版画美術館で開催され、議長が出席。 ・町田市消防団叙勲・藍綬褒章報告会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。 |
| | 22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・町田時代祭り2023が、芹ヶ谷公園で開催され、議長が出席。 |
| | 23日 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会運営委員会を開催。 ・第34回東京都道路整備事業推進大会が、砂防会館で開催され、議長・建設常任委員長・建設常任副委員長が出席。 |
| | 24日～ | <ul style="list-style-type: none"> ・第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州が、西日本総合展示場新館で開催され、議長・副議長が出席。 |
| | 25日 | |
| | 24日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。 ・第36回厚木基地騒音対策協議会が、ロイヤルホールヨコハマで開催され、議長が出席。 |
| | 26日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度町田市戦没者追悼式が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。 |
| | 27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・町田市立南第二小学校開校150周年記念式典が、市立南第二小学校で開催され、議長が出席。 ・町田市体育協会加盟団体代表者情報交換会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。 |
| | 28日 | <ul style="list-style-type: none"> ・第33回忠生市民センターまつりが、忠生市民センターで開催され、議長が出席。 ・超たまらん博オープニングセレモニーが、JR立川駅北口サンサンロードで開催され、副議長が出席。 ・町田市社会福祉協議会創立65周年記念表彰式が、町田市民フォーラムで開催され、議長が出席。 |
| | 29日 | <ul style="list-style-type: none"> ・2023まちだ体操祭が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。 |
| | 30日 | <ul style="list-style-type: none"> ・三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会が、東京自治会館で開催され、委員が出席。 |
| | 31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年第45回「町田市民文化祭」記念式典が、町田市民ホールで開催され、議長が出席。 ・第17回地域医療政策セミナーが、都市センターホテルで開催され、議員が出席。 ・令和5年第2回東京都六市競艇事業組合議会定例会が、東京自治会館で開催され、組合議会議員が出席。 |
| 11月 | 1日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年第2回南多摩斎場組合議会定例会が、南多摩斎場で開催され、組合議会議員が出席。 |
| | 2日 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会運営委員会を開催。 ・町田市立小山小学校創立150周年記念式典が、市立小山小学校で開催され、議長・副議長が出席。 |

- 11月
- 2日・多摩ニュータウン環境組合議会議員視察研修が、町田市バイオエネルギーセンターで開催され、組合議会議員が出席。
 - 3日・日野市市制施行60周年記念式典が、ひの煉瓦ホール（日野市民会館）で開催され、議長が出席。
 - ・第50回町田市障がい者スポーツ大会が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
 - 5日・第6回高校生と町田市議会議員の意見交換会が、町田市議会で開催され、議長・副議長・議員が出席。
 - 6日・令和5年第2回東京都十一市競輪事業組合議会定例会が、京王閣で開催され、組合議会議員が出席。
 - 8日・令和5年第2回多摩ニュータウン環境組合議会定例会が、多摩ニュータウン環境組合で開催され、組合議会議員が出席。
 - 9日・令和5年度東京たま広域資源循環組合議会議員及び事務連絡協議会合同行政視察が、武蔵野クリーンセンターで開催され、組合議会議員が出席。
 - 10日・第1回臨時会を開催。
 - ・文教社会常任委員会を開催。
 - ・建設常任委員会を開催。
 - 11日・第50回町田市農業祭表彰状授与式が、町田シバヒロで開催され、副議長が出席。
 - 12日・「すば一つ祭まちだ2023」開会式が、市立総合体育館で開催され、議長が出席。
 - ・「キラリ☆まちだ祭2023」開会式が、原町田大通りで開催され、議長が出席。
 - ・第14回甲州富士川まつりが、富士川いきいきスポーツ公園で開催され、副議長が出席。
 - 16日・相模原市・町田市の議員交流事業が、町田市バイオエネルギーセンター外で開催され、議長・副議長・議員が出席。
 - 17日・町田市立町田第一小学校創立150周年記念式典が、市立町田第一小学校で開催され、議長が出席。
 - 18日・町田市美術工芸館型入式が、町田市美術工芸館で開催され、副議長が出席。
 - ・FC町田ゼルビアJ1昇格報告会が、町田市役所で開催され、議長が出席。
 - 20日・東京都市議会議長会定例総会が、東京自治会館で開催され、議長が出席。
 - 21日・町田リス園開園35周年記念式典が、町田リス園で開催され、副議長が出席。
 - 22日・議会運営委員会を開催。
 - 23日・グローイングアップ映画祭鶴川ショートムービーコンテスト2023が、和光大学ポプリホール鶴川で開催され、副議長が出席。
 - 26日・2023年度米作り農業体験「収穫祭」式典が、七国山ファーマーズセンターで開催され、副議長が出席。

11月 27日 | ・ビッグデータを活用した地域経済分析と「ローカルファースト」の考え方について学ぶセミナー・参加者懇親会が、レンブラントホテル東京町田で開催され、議長が出席。

9. 資 料

(1) 歴代の正・副議長

代	議 長	在職期間	代	副 議 長	在職期間
1	夏 目 文 吉	S33. 3. 22 34. 3. 10	1	渋 谷 市 十 郎	33. 3. 22 34. 3. 10
2	夏 目 文 吉	34. 3. 10 35. 3. 11	2	菊 谷 武 平	34. 3. 10 35. 3. 11
3	熊 澤 重 治	35. 3. 11 36. 3. 14	3	内 田 政 光	35. 3. 11 36. 3. 14
4	笠 原 道 一	36. 3. 14 37. 3. 8	4	小 川 源 之 助	36. 3. 14 37. 3. 8
5	夏 目 文 吉	37. 3. 16 38. 11. 27	5	河 合 暁	37. 3. 16 39. 3. 13
6	河 合 暁	39. 3. 13 41. 3. 8	6	平 本 實	39. 3. 13 41. 3. 8
7	熊 澤 重 治	41. 3. 18 43. 3. 11	7	青 木 豊 富	41. 3. 18 43. 3. 12
8	平 本 實	43. 3. 12 45. 3. 8	8	斉 藤 照 男	43. 3. 13 45. 3. 8
9	森 町 三 之 助	45. 3. 17 47. 3. 10	9	笠 原 邦 雄	45. 3. 17 47. 3. 12
10	加 藤 二 郎	47. 3. 12 48. 3. 13	10	加 藤 忠 男	47. 3. 12 48. 3. 16
11	森 町 三 之 助	48. 3. 16 49. 3. 8	11	細 野 了	48. 3. 16 49. 3. 8
12	木 目 田 良 一	49. 3. 13 51. 3. 1	12	細 野 喜 代 松	49. 3. 13 51. 3. 3
13	内 田 博	51. 3. 3 53. 3. 8	13	笠 原 邦 雄	51. 3. 3 52. 3. 18
14	吉 岡 行 雄	53. 3. 9 55. 3. 6	14	長 沼 房 雄	52. 3. 22 53. 3. 8
15	小 山 貴 光	55. 3. 7 57. 3. 8	15	小 山 七 平	53. 3. 10 55. 3. 7
16	押 田 正	57. 3. 9 59. 3. 7	16	花 形 英 一	55. 3. 8 57. 3. 8
17	中 里 誠 作	59. 3. 8 61. 3. 8	17	木 美 貢	57. 3. 10 59. 3. 8
18	渋 谷 軍 治	61. 3. 11 63. 3. 3	18	小 竹 金 次	59. 3. 9 61. 3. 8
19	佐 藤 光 平	63. 3. 3 H元. 9. 21	19	小 川 忠 男	61. 3. 11 63. 3. 3
20	小 山 貴 光	元. 9. 21 2. 3. 8	20	小 林 章	63. 3. 4 2. 3. 8
21	八 木 邦 治	2. 3. 12 4. 3. 3	21	茂 木 朱 実	2. 3. 12 4. 3. 5
22	金 森 貢	4. 3. 5 6. 3. 8	22	岩 下 正 充	4. 3. 5 6. 3. 8
23	熊 沢 洋	6. 3. 9 8. 3. 1	23	和 田 国 吉	6. 3. 9 8. 3. 1

代	議 長	在職期間	代	副 議 長	在職期間
24	渋谷 佳久	8. 3. 1 10. 3. 8	24	志村 賢藏	8. 3. 1 10. 3. 8
25	渋谷 敏穎	10. 3. 9 12. 3. 1	25	谷沢 和夫	10. 3. 9 12. 3. 2
26	中里 猪一	12. 3. 2 14. 3. 8	26	伊藤 泰人	12. 3. 2 14. 3. 8
27	長村 敏明	14. 3. 11 16. 3. 1	27	佐藤 常雄	14. 3. 11 16. 3. 1
28	大塚 信彰	16. 3. 1 18. 3. 8	28	中山 勝子	16. 3. 2 18. 3. 8
29	黒木 一文	18. 3. 9 20. 2. 27	29	田中 修一	18. 3. 9 20. 2. 28
30	井上 正行	20. 2. 28 22. 3. 8	30	友井 和彦	20. 2. 28 22. 3. 8
31	川畑 一隆	22. 3. 9 24. 2. 27	31	吉田 つとむ	22. 3. 9 24. 2. 27
32	田中 修一	24. 2. 27 26. 3. 8	32	藤田 学	24. 2. 27 26. 3. 8
33	上野 孝典	26. 3. 10 28. 2. 25	33	大西 宣也	26. 3. 10 28. 2. 25
34	佐藤 伸一郎	28. 2. 25 28. 10. 4	34	殿村 健一	28. 2. 26 30. 3. 8
35	吉田 つとむ	28. 10. 4 30. 3. 8			
36	若林 章喜	30. 3. 9 R2. 2. 21	35	佐藤 和彦	30. 3. 9 2. 2. 21
37	熊沢 あやり	2. 2. 21 3. 12. 22	36	おく 栄一	2. 2. 25 4. 3. 8
38	佐藤 伸一郎	3. 12. 22 4. 3. 8			
39	戸塚 正人	4. 3. 9	37	いわせ 和子	4. 3. 9

(2) 歴代の正・副常任委員長

期別	任 期	名 称		総 務		厚 生		産 業 経 済		建 設	
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長
第1期	33. 3. 24~34. 3. 11	小島 海三	笠原 道一	小山 省治	鬼頭 玄定	内田 政光	高尾 英輔	熊澤 重治	菊谷 武平		
	34. 3. 11~35. 3. 11	井上 茂留	内田 博	高尾 英輔	鈴木 喜市	小川源之助	斎藤 照男	河合 暁	笠原 道一		
	35. 3. 11~36. 3. 14	前田 忠三	加藤 二郎	青木 豊富	平本 實	笠原 道一	臼井 嘉市	合志 数馬	佐藤 長一		
	36. 3. 14~37. 3. 8	平本 實	三沢 四郎	名越覚十郎	臼井 嘉市	堤 嘉明	中金 義男	佐藤善治郎	加藤 二郎		
第2期	37. 3. 17~39. 3. 13	久保田政雄	中村 義高	井上 茂留	堤 時彦	熊澤 重治	佐藤 長一	青木 豊富	城田 賢蔵		
	39. 3. 13~41. 3. 8	加藤 二郎	池田 正盛	堤 時彦	加藤 忠男	高尾 英輔	宇田川 孝	森町三之助	渋谷 守生		
	39. 12. 19~41. 3. 8					宇田川 孝	市川 四郎				
第3期	41. 3. 9~43. 3. 13	渋谷 守生	森町三之助	加藤 忠男	堤 時彦	平本 實	長沼 房雄	加藤 二郎	城田 賢蔵		
	43. 3. 13~45. 3. 8	吉岡 行雄	諸澄 福治	名越覚十郎	守屋 三郎	堤 時彦	堀山 武一	渋谷 守生	井上 昇		
	44. 3. 14~45. 3. 8							井上 昇	森町三之助		
期別	任 期	名 称		総 務		文 教 社 会		衛 生 産 業 (50. 6. 10まで) 環 境 企 業 (50. 6. 11から)		建 設	
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長
第4期	45. 3. 18~47. 3. 17	諸澄 福治	福本 爽	守屋 三郎	光安百太郎	長沼 房雄	細野 総一	堀山 武一	仲沢 逸雄		
	47. 3. 18~49. 3. 8	大沢 伊助	小竹 金次	宇田川 孝	押田 正	小林 章	小山 貴光	内田 博	渡辺 勝広		
第5期	49. 3. 14~51. 3. 13	小山 貴光	長沼 房雄	押田 正	小林 章	市田 康	田中 年男	渡辺 勝広	細野 英雄		
	51. 3. 15~53. 3. 8	小山 七平	中里 誠作	光安百太郎	小原 祥夫	三沢 義雄	佐藤 松子	大沢 伊助	高野 和洋		
第6期	53. 3. 9~57. 3. 11	中里 誠作	長沼 房雄	広田 幾造	渡辺 勝広	茂木 朱実	渋谷 軍治	中金 義男	仲沢 逸雄		
	55. 3. 13~57. 3. 8	小竹 金次	小川 忠男	小林 章	萩原 康好	佐藤 光平	倉成 美敏	小原 祥夫	今村 直		
	55. 3. 14~57. 3. 8		(55. 3. 13のみ) 小山 七平								
第7期	57. 3. 10~59. 3. 10	渋谷 軍治	小川 忠男	今村 直	井上 博行	倉成 美敏	谷沢 和夫	仲沢 逸雄	林 郁男		
	59. 3. 10~61. 3. 8	林 郁男	山下 七郎	須崎 卓司	茂木 朱美	萩原 康好	稲葉 孝紀	小川 忠男	井上 正行		

期別	称 任 期	名		総 務		文 教 社 会		環 境 企 業		建 設	
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長
第8期	61. 3. 12~63. 3. 11	八木 邦治	倉成 美敏	和田 国吉	金森 貢	佐藤 松子	岩下 正充	須崎 卓司	盛永 勝也		
	63. 3. 14~ 2. 3. 8	盛永 勝也	渋谷 敏穎	岩瀬 雄二	倉成 美敏	山下 七郎	井上 正行	志村 賢蔵	熊沢 洋		
第9期	2. 3. 13~ 4. 3. 12	熊沢 洋	佐藤 常雄	稲葉 孝紀	中里 猪一	古宮杜司男	鱒沢 サト	斎藤 勇	谷沢 和夫		
	4. 3. 13~ 6. 3. 9	谷沢 和夫	中里 猪一	佐藤 松子	伊藤 泰人	中山 勝子	彦坂 恵子	井上 正行	渋谷 佳久		
	5. 6. 7~ 6. 3. 9					佐藤 常雄					
第10期	6. 3. 9~ 8. 3. 8	渋谷 佳久	伊藤 泰人	中山 勝子	黒木 一文	進木 忠	殿村 健一	齋藤 稔	戸塚 雅夫		
	8. 3. 11~10. 3. 8	黒木 一文	友井 和彦	戸塚 雅夫	井上 勉	小宮晟太郎	吉田 勉	岩下 正充	片山 光代		
第11期	10. 3. 10~12. 3. 5	吉田 勉	今村 路加	伊藤 泰人	大塚 信彰	長村 敏明	中西佳代子	佐藤 常雄	井上 勉		
	称 任 期	企 画 総 務		保 健 福 祉		文 教 生 活		都 市 環 境			
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長		
		12. 3. 6~14. 3. 8	井上 勉	中西佳代子	彦坂 恵子	藤田 学	大塚 信彰	川畑 一隆	友井 和彦	田中 修一	
13. 6. 1~14. 3. 8			谷沢 和夫								
13. 12. 3~14. 3. 8	岩瀬 雄二										
第12期	14. 3. 12~16. 3. 11	藤田 学	友井 和彦	川畑 一隆	田中 修一	今村 路加	細野 龍子	大西 宣也	高嶋 均		
	15. 1. 29~15. 12. 3	渋谷 敏穎									
	15. 12. 4~16. 3. 11	大塚 信彰									
	16. 3. 12~18. 3. 8	大西 宣也	高嶋 均	殿村 健一	石井 恵子	川島 龍子	佐藤 洋子	田中 修一	若林 章喜		
	17. 2. 28~18. 3. 8				佐藤伸一郎						

期別	称 名 任 期	企 画 総 務		保 健 福 祉		文 教 生 活		都 市 環 境	
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長
第13期	18. 3. 10～20. 3. 9	新井 克尚	佐藤伸一郎	渋谷 武己	あさみ美子	上野 孝典	佐々木智子	熊沢あやり	宮坂けい子
	20. 3. 10～20. 3. 31	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野 龍子	いわせ和子
	称 名 任 期	総 務		健 康 福 祉		文 教 社 会		建 設	
		委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	副 委 員 長
20. 4. 1～22. 3. 8	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野龍子	いわせ和子	
21. 4. 8～22. 3. 8							高嶋 均		
第14期	22. 3. 10～24. 3. 11	河辺康太郎	佐藤 洋子	おく 栄一	齋藤 祐善	佐々木智子	いわせ和子	三遊亭らん丈	戸塚 正人
	24. 3. 12～	戸塚 正人	渋谷 武己	佐藤 洋子	わたべ真実	齋藤 祐善	三遊亭らん丈	山下てつや	佐藤 和彦
	24. 6. 19～			上野 孝典					
	25. 4. 12～		宮坂けい子						
	25. 11. 28～26. 3. 8					三遊亭らん丈	森本せいや		
第15期	26. 3. 11～28. 3. 10	森本せいや	渡辺巖太郎	佐藤 和彦	松岡みゆき	いわせ和子	白川 哲也	わたべ真実	池川 友一
	28. 3. 11～	松岡みゆき	石井くにのり	池川 友一	木目田英男	市川 勝斗	おぜき重太郎	白川 哲也	石川 好忠
	29. 3. 28～30. 3. 8			森本せいや		三遊亭らん丈			
第16期	30. 3. 12～	渡辺巖太郎	吉田つとむ	石川 好忠	ちだ 伸也	木目田英男	松葉ひろみ	おぜき重太郎	森本せいや
	30. 3. 20～ R2. 3. 17	いわせ和子							
	R2. 3. 18～	ちだ 伸也	星だいすけ	松葉ひろみ	東 友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	渡辺巖太郎	深沢ひろふみ
	R3. 6. 7～R4. 3. 8		若林 章喜						
第17期	R4. 3. 10～	おんじょう由久	白川 哲也	石川 好忠	森本せいや	東 友美	新井よしなお	渡辺巖太郎	村まつ 俊孝

(3) 歴代の正・副議会運営委員長

期 別	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 9 期	H 3. 12. 20～ 4. 3. 12 4. 3. 13～ 6. 3. 8 4. 3. 13～ 5. 5. 25 5. 5. 25～ 6. 3. 8	和田 国吉 渋谷 敏穎	大西 宣也 佐藤 常雄 稲葉 孝紀
第 10 期	H 6. 3. 10～ 8. 3. 4 8. 3. 4～10. 3. 8	中里 猪一 茂木 朱実	佐藤 常雄 長村 敏明
第 11 期	H10. 3. 10～12. 3. 6 12. 3. 6～14. 3. 8	黒木 一文 岩瀬 雄二	小宮晟太郎 田中 修一
第 12 期	H14. 3. 12～16. 3. 1 16. 3. 2～17. 12. 22 16. 3. 2～18. 3. 8 17. 12. 22～18. 3. 8	吉田つとむ 藤田 学 黒木 一文	中山 勝子 熊沢あやり
第 13 期	H18. 3. 10～20. 2. 27 20. 2. 28～22. 3. 8 20. 2. 28～21. 4. 28 21. 5. 26～22. 3. 8	友井 和彦 渋谷 武己	高嶋 均 新井 克尚 伊藤 泰人
第 14 期	H22. 3. 10～24. 2. 27 24. 2. 28～26. 3. 8	田中 修一 おく 栄一	細野 龍子 森本せいや
第 15 期	H26. 3. 11～28. 2. 28 28. 2. 29～28. 3. 10 28. 3. 11～30. 3. 8	市川 勝斗 若林 章喜 若林 章喜	戸塚 正人 山下てつや 山下てつや
第 16 期	H30. 3. 12～R2. 2. 24 2. 2. 25～ 2. 3. 17 2. 3. 18～ 3. 6. 7～	三遊亭らん丈 森本せいや 森本せいや	戸塚 正人 松岡みゆき 松岡みゆき 木目田英男
第 17 期	R 4. 3. 10～	山下てつや	佐藤 和彦

(4) 歴代の正・副特別委員長

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第1期	ガ ス 誘 致 (36.3「ガス」と改称)	33. 3.24～37. 3. 8	15	33. 3.24～34. 3.11 34. 3.11～35. 3.11 35. 3.11～36. 3.20 36. 3.20～37. 3. 8	細野 信正 久保田政雄 鬼頭 玄定 加藤 二郎	久保田政雄 臼井 嘉市 名越覚十郎 臼井 嘉市
	首都圏整備対策	33. 3.24～37. 3. 8	15	33. 3.24～34. 3.11 34. 3.11～35. 3.11 35. 3.11～36. 3.21 36. 3.21～37. 3. 8	堀江 卓 大谷喜代志 今岡七五郎 竹内 武雄	竹内 武雄 佐藤 長一 榎本 熙 鈴木 喜市
	アジビラ調査	36. 4.20～36. 9.21	11	36. 5.13～36. 7. 8 36. 7. 8～36. 9.21	熊澤 重治 河合 暁	内田 政光 内田 政光
	オリンピック馬術 競技場誘致	36. 8. 1～36. 9.21	10	36. 8. 4～36. 9.21	夏目 文吉	三沢 四郎
第2期	ガ ス	37. 3.17～37. 9.20	12	37. 3.17～37. 9.20	高尾 英輔	佐藤 長治
	首都圏整備対策	37. 3.17～37. 9.20	13	37. 3.17～37. 9.20	三沢 四郎	加藤 二郎
	鶴川地区飼牛 環境整備対策	37. 6. 1～37. 9.20	7	37. 6. 1～37. 9.20	三沢 四郎	中村 義高
	消防署建設促進	37.10. 6～38. 6.15	10	37.10. 6～38. 6.15	河合 暁	青木 豊富
	非行少年問題対策	38. 6.28～38.11. 8	14	38. 7.22～38.11. 8	堤 時彦	森町三之助
	都市整備対策	38. 6.28～38. 9.12	16	38. 7.10～38. 9.12	三沢 四郎	佐藤 長治
	市街地改造 (40.6 2・2・1 路線対策と改称)	38. 9.21～40.12.21	10	38. 9.21～40.12.21	久保田政雄	加藤 二郎
	忠生区画整理対策	38. 9.21～40.12.21	10	38. 9.21～40.12.21	鈴木 喜市	守屋喜代次
	東名高速道路対策	38. 9.21～40. 6.24	10	38. 9.21～40. 6.24	井上 茂留	宇田川 孝
	市立体育館建設	39. 3.25～40. 1.15	10	39. 3.25～40. 1.15	渋谷市十郎	斉藤 照男
	横浜線複線促進	40. 3.29～41. 3. 8	10	40. 3.29～41. 3. 8	青木 豊富	斉藤 照男
市職員 の 服務規律調査	40. 9.30～40.12.20	8	40.10. 5～40.12.20	斉藤 照男	細野 了	

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第3期	横浜線複線促進	41. 3. 19~45. 3. 8	10	41. 3. 19~43. 3. 23 43. 3. 23~45. 3. 8	笠原 邦雄 城田 賢蔵	諸澄 福治 河合秀二郎
	山崎市有地調査	41. 9. 30~42. 3. 10	7	41. 10. 11~42. 3. 10	吉岡 行雄	名越覚十郎
	境川改修対策	41. 9. 30~45. 3. 8	7	41. 10. 12~43. 3. 16 43. 3. 16~45. 3. 8	斉藤 照男 福本 爽	福本 爽 細野 了
	団地対策	41. 12. 20~45. 3. 8	8	42. 1. 11~45. 3. 8	細野 総一	小山 七平
	庁舎建設	42. 12. 16~44. 12. 17	13	42. 12. 22~44. 12. 17	青木 豊富	名越覚十郎
	決算（42年度）	43. 12. 10~43. 12. 18	29	43. 12. 10~43. 12. 18	加藤 二郎	井上 昇
第4期	横浜線対策	45. 3. 31~49. 3. 8	9	45. 4. 1~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	細野喜代松 吉岡 行雄	木目田良一 長沼 房雄
	境川改修対策	45. 3. 31~49. 3. 8	10	45. 4. 12~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	鈴木 喜市 細野喜代松	細野 了 池田 正盛
	団地造成対策	45. 4. 2~49. 3. 8	10	45. 4. 2~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	小山 七平 仲沢 逸雄	大沢 伊助 市田 康
	市街地再開発	46. 6. 21~49. 3. 8	9	46. 6. 21~47. 3. 18 47. 3. 18~49. 3. 8	宇田川 孝 河合秀二郎	加藤 忠男 守屋 三郎
	公有財産使用許可 取り消し処分 に関する審査	46. 5. 14~46. 5. 22	9	46. 5. 14~46. 5. 22	加藤 忠男	名越覚十郎
	決算（45年度）	46. 12. 18~47. 6. 12	12	46. 12. 18~47. 6. 12	福本 爽	小竹 金次
	決算（46年度）	47. 12. 18~48. 9. 12	12	47. 12. 18~48. 9. 12	木目田良一	渡辺 勝広
第5期	土地利用対策	49. 3. 25~53. 3. 8	10	49. 3. 25~51. 3. 15 51. 3. 15~53. 3. 8	守屋 三郎 渡辺 勝広	(~51. 3. 4) 小林 章 井上 博行
	交通対策	49. 3. 25~53. 3. 8	10	49. 3. 25~51. 3. 15 51. 3. 15~53. 3. 8 51. 3. 15~52. 3. 23 52. 3. 31~53. 3. 8	吉岡 行雄 花形 英一	(~51. 3. 4) 木美 貢 長沼 房雄 茂木 朱実

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長	
第5期	市街地再開発	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15	河合秀二郎	中里 誠作	
				49. 3. 25～51. 3. 4			
				51. 3. 15～52. 6. 17	河合秀二郎		
				52. 7. 14～53. 3. 8			細野喜代松
				51. 3. 15～51. 12. 14			
	51. 12. 14～53. 3. 8		大西 一也				
	河川改修対策	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15	(～51. 3. 4) 高野 和洋	浅沼 武男	
決算（48年度）	49. 12. 14～50. 3. 11	13	49. 12. 14～50. 3. 11	木美 貢	小峯 璋		
決算（49年度）	50. 12. 10～51. 3. 1	13	50. 12. 10～51. 3. 1	吉岡 行雄	金子 喜市		
予 算	51. 3. 16～51. 3. 31	39	51. 3. 16～51. 3. 31	内田 博	倉成 美敏		
決算（50年度）	51. 12. 14～52. 3. 8	13	51. 12. 16～52. 3. 8	吉岡 行雄	茂木 朱実		
委員会審査条例	52. 12. 22～53. 3. 8	11	52. 12. 22～53. 3. 8	小山 貴光	小竹 金次		
第6期	土地利用対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小原 祥夫	倉成 美敏	
				55. 3. 11～57. 3. 8	仲沢 逸雄	菊地 信夫	
	交通対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小山 貴光	林 郁男	
				55. 3. 11～57. 3. 8	須崎 卓司	渡辺 勝広	
	市街地再開発	53. 3. 11～56. 3. 5	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小竹 金次	井上 博行	
				55. 3. 11～56. 3. 5	古宮杜司男	小川 忠男	
	河川改修対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	岩下 正充	井上 直之	
				55. 3. 11～57. 3. 8	林 郁男	岩下 正充	
市職員の勤務に関する調査	53. 4. 1～54. 3. 28	13	53. 4. 1～54. 3. 28	花形 英一	小竹 金次		
決算（52年度）	53. 12. 13～54. 3. 6	13	53. 12. 13～54. 3. 6	押田 正	菊地 信夫		
土地利用規制に関する調査	54. 9. 20～56. 3. 26	14	54. 9. 20～56. 3. 26	井上 博行	倉成 美敏		
決算（53年度）	54. 12. 11～55. 3. 27	14	54. 12. 11～55. 3. 27	佐藤 松子	萩原 康好		

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第6期	決算（54年度）	55.12.11～56.3.5	14	55.12.11～56.3.5	小峯 璋	井上 直之
	市街地対策	56.3.30～57.3.8	10	56.4.7～57.3.8	古宮杜司男	小川 忠男
	学校給食条例審査	57.12.14～57.3.8	15	56.12.14～57.3.8	大西 一也	茂木 朱実
第7期	市街地整備対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	吉岡 行雄	盛永 勝也
				59.3.10～61.3.8	金森 責	佐藤 松子
	交通輸送対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	茂木 朱実	佐藤 松子
				59.3.10～61.3.8	広田 幾造	和田 国吉
	土地利用対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.10～59.3.10	志村 賢藏	須崎 卓司
				59.3.10～61.3.8	岩瀬 雄二	仲沢 逸雄
	行政改革に関する	57.3.30～59.3.6	10	57.3.30～59.3.6	大沢 伊助	井上 正行
	決算（56年度）	57.12.15～58.3.8	16	57.12.15～58.3.8	萩原 康好	岩下 正充
	校内暴力に関する調査	58.3.31～59.3.6	16	58.3.31～59.3.6	小山 貴光	稲葉 孝紀
	町田市議会議員定数に関する	58.9.29～60.9.4	16	58.9.29～59.3.10 59.3.10～60.9.4	萩原 康好 谷沢 和夫	小竹 金次 古宮杜司男
決算（57年度）	58.12.12～59.3.6	16	58.12.12～59.3.6	広田 幾造	渡辺 勝広	
決算（58年度）	59.12.3～59.12.25	16	59.12.3～59.12.25	熊沢 洋	和田 国吉	
決算（59年度）	60.12.3～60.12.24	15	60.12.3～60.12.24	大沢 伊助	志村 賢藏	
第8期	土地利用対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	小林 章	進木 忠
				63.3.4～2.3.8	岩下 正充	斎藤 勇
	交通輸送対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	稲葉 孝紀	小原 祥夫
				63.3.4～2.3.8	佐藤 松子	渋谷 佳久
	市街地整備対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	広田 幾造	井上 正行
				63.3.4～2.3.8	大西 宣也	進木 忠
	決算（60年度）	61.12.2～61.12.23	15	61.12.2～61.12.23	山下 七郎	岩下 正充
	古宮議員の言動究明に関する調査	62.9.29～63.12.16	13	62.9.29～63.3.16	小竹 金次	広田 幾造
決算（61年度）	62.12.2～62.12.25	15	62.12.2～62.12.25	岩瀬 雄二	斎藤 勇	
電算機導入対策	63.3.29～元.9.4	10	63.3.29～元.9.4	長尾 彰久	八木 邦治	
決算（62年度）	63.12.1～63.12.23	15	63.12.1～63.12.23	金森 貢	中山 勝子	
決算（63年度）	元.12.1～元.12.22	15	元.12.1～元.12.22	須崎 卓司	稲葉 孝紀	

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第9期	決算（元年度）	2.12. 3～ 2.12.21	15	2.12. 3～ 2.12.21	渋谷 敏颯	長尾 彰久
	レストラン四季補助 金 使 途 調 査	3. 2. 5～ 3.12.20	15	3. 2. 5～ 3.12.20	金森 貢	進木 忠
	庁 舎 建 設	2. 9. 2～ 5.11.26	14	2. 9. 2～ 4. 3.13	渋谷 佳久	林 郁男
				4. 3.13～ 5. 1. 4	志村 賢藏	戸塚 雅夫
			5. 3. 2～ 5.11.26	進木 忠	中里 猪一	
	決算（2年度）	3.11.25～ 3.12.20	14	3.11.25～ 3.12.20	中里 猪一	佐藤 常堆
第10期	決算（5年度）	6.11.25～ 6.12.20	12	6.11.25～ 6.12.20	黒木 一文	伊藤 泰人
	決算（6年度）	7.11.27～ 7.12.21	12	7.11.27～ 7.12.21	戸塚 雅夫	岩下 正充
	決算（7年度）	8.11.25～ 8.12.19	12	8.11.25～ 8.12.19	大塚 信彰	今村 路加
	決算（8年度）	9.11.26～ 9.12.19	11	9.11.26～ 9.12.19	井上 勉	井上 正行
第11期	決算（9年度）	10.11.25～10.12.22	12	10.11.25～10.12.22	小宮晟太郎	友井 和彦
	町田市議会の改革 に 関 する 調 査	11. 3. 3～13. 9. 3	14	11. 3.12～13. 9. 3	大塚 信彰	川島 龍子
	行 財 政 改 革	11. 3.12～13.11.16	14	11. 3.29～13.11.16	井上 正行	長村 敏明
	決算（10年度）	11.11. 8～11.11.29	10	11.11. 8～11.11.29	大塚 信彰	川島 龍子
	町 田 市 庁 舎 等 に 関 する	12. 6.23～13. 9.26	12	12. 6.23～13. 12. 3	渋谷 軍治	大西 宣也
	決算（11年度）	12.11. 7～12.12. 1	11	12.11. 7～12.12. 1	中山 勝子	中西佳代子
	決算（12年度）	13.11. 6～13.12. 3	11	13.11. 6～13.12. 3	藤田 学	進木 忠
第12期	決算（13年度）	14. 9.27～14.10.28	10	14. 9.27～14.10.28	友井 和彦	上野 孝典
	決算（14年度）	15. 9.29～15.10.22	10	15. 9.29～15.10.22	川畑 一隆	新井 克尚
	庁 舎 等 検 討	15.12.15～16. 3.26	11	15.12.15～16. 3.26	藤田 学	岩下 正充
	新庁舎建設等に 関 する 調 査	16. 9.13～17.12.22	10	16. 9.13～17.12.22	伊藤 泰人	佐藤伸一郎
	決算（15年度）	16. 9.14～16.10. 7	10	16. 9.14～16.10. 7	渋谷 武己	宮坂けい子
	決算（16年度）	17. 9.16～17.10.12	10	17. 9.16～17.10.12	新井 克尚	佐藤伸一郎

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第13期	決算（17年度）	18. 9. 12～18. 10. 5	10	18. 9. 12～18. 10. 5	若林 章喜	戸塚 正人
	議会改革調査	18. 9. 12～21. 6. 23	11	18. 9. 12～20. 2. 27	井上 正行	
				18. 9. 12～20. 3. 3		若林 章喜
				20. 3. 10～21. 6. 23	伊藤 泰人	三遊亭らん丈
	町田市庁舎建設等に関する調査	18. 10. 5～21. 3. 30	10	18. 10. 5～21. 3. 30	佐藤伸一郎	あさみ美子
	決算（18年度）	19. 9. 13～19. 10. 10	10	19. 9. 13～19. 10. 10	佐藤伸一郎	吉村こずえ
	決算（19年度）	20. 9. 16～20. 10. 9	10	20. 9. 16～20. 10. 9	三遊亭らん丈	おく 栄一
決算（20年度）	21. 9. 9～21. 10. 6	10	21. 9. 9～21. 10. 6	齋藤 祐善	市川 勝斗	
第14期	決算（21年度）	22. 9. 10～22. 10. 6	10	22. 9. 10～22. 10. 6	山下てつや	白川 哲也
	町田市庁舎及び庁舎移転に関する調査	22. 3. 30～24. 3. 28	10	22. 3. 30～24. 3. 28	新井 克尚	戸塚 正人
	野津田公園基本計画に関する調査	23. 3. 29～23. 8. 30	8	23. 3. 29～23. 8. 30	上野 孝典	齋藤 祐善
	決算（22年度）	23. 9. 8～23. 10. 4	10	23. 9. 8～23. 10. 4	市川 勝斗	戸塚 正人
	町田市議会改革調査	23. 9. 8～25. 6. 6	8	23. 9. 8～25. 6. 6	齋藤 祐善	山下てつや
	決算（23年度）	24. 9. 12～24. 10. 5	10	24. 9. 12～24. 10. 5	河辺康太郎	細野 龍子
	決算（24年度）	25. 9. 11～25. 10. 8	10	25. 9. 11～25. 10. 8	渡辺巖太郎	いわせ和子
第15期	町田市交通政策	26. 6. 3～28. 6. 24	10	26. 6. 3～28. 2. 24	佐藤伸一郎	
				26. 6. 3～28. 6. 24		おげき重太郎
				28. 2. 25～28. 6. 24	藤田 学	
	決算（25年度）	26. 9. 10～26. 10. 6	10	26. 9. 10～26. 10. 6	白川 哲也	石川 好忠
	第15期町田市議会改革調査	27. 3. 27～27. 12. 22	9	27. 3. 27～27. 12. 22	熊沢あやり	戸塚 正人
決算（26年度）	27. 9. 8～27. 10. 5	10	27. 9. 8～27. 10. 5	松岡みゆき	石井くにのり	
第16期	第16期町田市議会改革調査	30. 12. 11～R3. 3. 29	10	30. 12. 11～R2. 3. 17	藤田 学	松葉ひろみ
				R2. 3. 18～R3. 3. 29	三遊亭らん丈	斉藤かつひろ
	町田市基本構想・基本計画調査	R元. 8. 28～R3. 6. 30	36 R2. 3. 18 から 10	R元. 8. 28～R3. 6. 30	若林 章喜	佐藤 和彦
第17期	第17期町田市議会改革調査	R4. 6. 30～	10	R4. 6. 30～	今村 るか	村まつ俊孝

(5) 歴代の正・副法外委員長

	名称	設置期間	定数	任期	委員長	副委員長
第1期	議会運営	33. 3. 24～37. 3. 8	8	33. 3. 24～34. 3. 11	渋谷 一郎	三沢 四郎
				34. 3. 11～35. 3. 11	三沢 四郎	青木 豊富
				35. 3. 11～36. 3. 14	三沢 四郎	渋谷 一郎
				36. 3. 14～37. 3. 8	斎藤 照男	渋谷 一郎
第2期	議会運営	37. 3. 17～41. 3. 8	5	37. 3. 17～39. 3. 13	斎藤 照男	城田 賢蔵
				39. 3. 13～41. 3. 8	斎藤 照男	城田 賢蔵
第3期	議会運営	41. 3. 19～45. 3. 8	7	41. 3. 19～43. 3. 13	斎藤 照男	城山 武一
				43. 3. 13～45. 3. 8	前田 敏一	宇田川 孝
第4期	議会運営	45. 3. 18～49. 3. 8	8	45. 3. 18～47. 3. 21	吉岡 行雄	河合秀二郎
				47. 3. 27～49. 3. 8	笠原 邦雄	小山 七平
	災害対策	46. 9. 25～49. 3. 8	10	46. 11. 22～47. 3. 18	内田 博	河合秀二郎
				47. 3. 28～49. 3. 8	堤 時彦	細野 了
第5期	議会運営	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 3. 14～51. 3. 4	笠原 邦雄	内田 博
				51. 3. 5～53. 3. 8	押田 正	金子 喜市
	災害対策	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 5. 7～51. 3. 14	小川 忠男	花形 英一
				51. 3. 15～53. 3. 8	斎藤 謹也	林 郁男
第6期	議会運営	53. 3. 11～57. 3. 8	8	53. 3. 11～55. 3. 10	大沢 伊助	金子 喜市
				55. 3. 11～57. 3. 8	金子 喜市	
				55. 3. 11～55. 9. 17		中金 義男
				55. 9. 26～57. 3. 8		井上 博行
	災害対策	53. 3. 11～57. 3. 8	13	53. 3. 11～55. 3. 10	今村 直	田中 年男
				53. 3. 11～54. 2. 18		小峯 璋
			54. 3. 6～55. 3. 10		谷沢 和夫	
			55. 3. 11～57. 3. 8	陶山 金造		
第7期	議会運営	57. 3. 10～61. 3. 8	10	57. 3. 10～59. 3. 9	中里 誠作	小竹 金次
				59. 3. 10～61. 3. 8	今村 直	八木 邦治
	災害対策	57. 3. 10～61. 3. 8	12	57. 3. 10～59. 3. 9	広田 幾造	進木 忠
				59. 3. 10～61. 3. 8	進木 忠	熊沢 洋
第8期	議会運営	61. 3. 12～ 2. 3. 8	10	61. 3. 12～63. 3. 11	小竹 金次	熊沢 洋
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	茂木 朱実	金森 貢
	災害対策	61. 3. 12～ 2. 3. 8	12	61. 3. 12～63. 3. 11	古宮杜司男	山下 七郎
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	中里 猪一	佐藤 常雄
第9期	議会運営	2. 3. 13～ 3. 12. 18	10	2. 3. 13～ 3. 12. 18	和田 国吉	大西 宣也
	災害対策	2. 3. 13～ 6. 3. 8	11	2. 3. 13～ 4. 3. 12	渋谷 佳久	盛永 勝也
				4. 3. 13～ 6. 3. 8	小宮晟太郎	黒木 一文
第10期	災害対策	6. 3. 10～10. 3. 8	11	6. 3. 10～ 8. 3. 8	小宮晟太郎	渋谷 敏穎
				8. 3. 11～10. 3. 8	斎藤 勇	岩瀬 雄二

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 11 期	災 害 対 策	10. 3. 10～14. 3. 8	11	10. 3. 10～12. 3. 10 12. 3. 10～14. 3. 8	井上 勉 藤田 学	殿村 健一 岩下 正充
第 12 期	災 害 対 策	14. 3. 12～16. 3. 11	10	14. 3. 12～16. 3. 11 14. 3. 12～15. 12. 3 15. 12. 4～16. 3. 11	高嶋 均	大塚 信彰 熊沢あやり
		16. 3. 12～18. 3. 8	11	16. 3. 12～18. 3. 8	佐藤伸一郎	新井 克尚
第 13 期	災 害 対 策	18. 3. 10～22. 3. 8	10	18. 3. 10～20. 3. 9 20. 3. 10～22. 3. 8	若林 章喜 市川 勝斗	佐々木智子 山下 哲也
	町田市議 会50年 史編さん	19. 4. 11～21. 3. 30	7	19. 4. 11～20. 2. 27 19. 4. 11～20. 2. 28 20. 3. 10～21. 3. 30	黒木 一文 井上 正行	田中 修一 友井 和彦
第 14 期	災 害 対 策	22. 3. 10～26. 3. 8	11	22. 3. 10～24. 3. 11 24. 3. 12～26. 3. 8	佐藤伸一郎 上野 孝典	上野 孝典 池川 友一
第 15 期	災 害 対 策	26. 3. 11～30. 3. 8	10	26. 3. 11～28. 3. 10 28. 3. 11～30. 3. 8	三遊亭らん丈 渡辺巖太郎	あさみ美子 石井くにのり
第 16 期	災 害 対 策	30. 3. 12～R4. 3. 8	10 30. 9. 26 から 11	30. 3. 12～R2. 3. 17 R2. 3. 18～R4. 3. 8	松葉ひろみ 木目田英男	わたべ真実 おぜき重太郎
第 17 期	災 害 対 策	R4. 3. 10～	12	R4. 3. 10～	今村 るか	佐々木智子

(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧

(単位：円)

改定年月日	議 長	副 議 長	議 員	市 長	副 市 長	教 育 長
S. 33. 2. 1	—	—	—	—	—	40,000以上
33. 3. 9	23,000	20,000	18,000	—	—	—
33. 4. 1	—	—	—	60,000	40,000～ 50,000	—
36. 4. 1	—	—	—	75,000～ 85,000	60,000～ 70,000	60,000以上
37. 4. 1	40,000	35,000	30,000	80,000～ 90,000	65,000～ 75,000	65,000以上
38. 4. 1	—	—	—	105,000	90,000	75,000
38. 7. 1	45,000	40,000	35,000	—	—	—
39. 4. 1	—	—	—	120,000	100,000	85,000
40. 4. 1	70,000	60,000	50,000	135,000	115,000	100,000
43. 9. 1	83,000	73,000	65,000	175,000	145,000	120,000
46. 4. 1	120,000	100,000	90,000	—	180,000	155,000
48. 4. 1	150,000	130,000	120,000	—	240,000	220,000
49. 4. 1	175,000	145,000	135,000	340,000	310,000	280,000
50. 4. 1	210,000	180,000	170,000	410,000	360,000	330,000
51. 10. 1	250,000	220,000	210,000	470,000	420,000	400,000
53. 4. 1	300,000	270,000	250,000	540,000	480,000	460,000
54. 9. 1	320,000	290,000	275,000	570,000	510,000	490,000
55. 10. 1	350,000	320,000	300,000	590,000	530,000	510,000
57. 6. 1	380,000	350,000	330,000	650,000	580,000	555,000
59. 12. 1	405,000	375,000	355,000	690,000	610,000	570,000
61. 10. 1	440,000	405,000	385,000	745,000	655,000	610,000
63. 4. 1	467,000	430,000	410,000	790,000	695,000	647,000
H. 2. 10. 1	515,000	474,000	452,000	870,000	760,000	707,000
4. 10. 1	570,000	525,000	500,000	950,000	830,000	770,000
7. 4. 1	596,000	549,000	523,000	993,000	867,000	804,000
9. 1. 1	640,000	580,000	550,000	1,060,000	900,000	820,000

※特例条例による減額等は含まず。

(7) 議員の期末手当率一覧

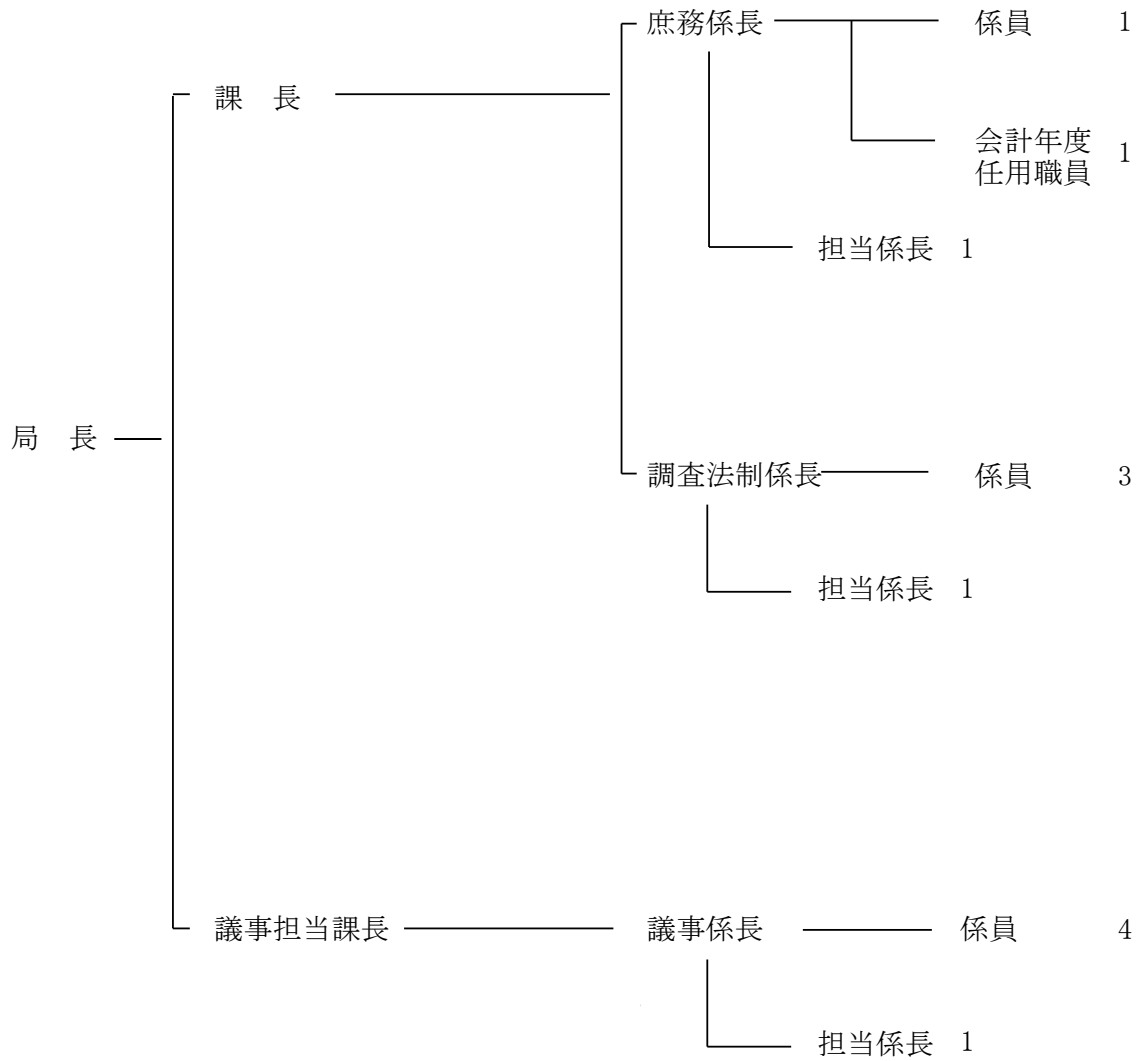
年	3月期	6月期	12月期	年	3月期	6月期	12月期
S 3 3		0.5	1.0	3	0.55	2.2	2.7
3 4		1.0	1.0	4	0.55	2.2	2.7
3 5		1.0	1.5	5	0.5	2.2	2.6
3 6		2.0	3.0	6	0.5	2.2	2.6
3 7		1.43	2.0	7	0.4	2.2	2.5
3 8		1.5	2.5	8	0.5	2.2	2.5
3 9		1.8	3.0	9	0.5	2.2	2.5
4 0		1.4	2.2	1 0	0.5	2.2	2.5
4 1		1.8	2.7	1 1	0.5	2.2	2.5
4 2		1.5	3.0	1 2	0.2	2.2	2.5
4 3		2.0	3.0	1 3	0.5	2.2	2.5
4 4		2.0	3.0	1 4	0.5	2.2	2.5
4 5		2.0	3.01	1 5	0.5	2.2	2.5
4 6		2.05	3.1	1 6	0.5	2.2	2.5
4 7		2.11	3.2	1 7	0.5	2.2	2.5
4 8		2.3	3.4	1 8	0.5	2.2	2.5
4 9		2.5	3.89	1 9	0.5	2.2	2.5
5 0		2.4	3.2	2 0	0.5	2.2	2.5
5 1		2.2	3.2	2 1	0.5	2.2	2.5
5 2		2.25	3.2	2 2	0.5	2.2	2.5
5 3		2.22	3.2	2 3	0.5	2.2	2.5
5 4		2.2	3.13	2 4	0.5	2.2	2.5
5 5		2.0	3.24	2 5	0.5	2.2	2.5
5 6		2.225	2.95	2 6	0.5	2.1	2.4
5 7		2.185	2.95	2 7	0.4	2.1	2.4
5 8		2.17	2.82	2 8	0.4	2.1	2.4
5 9		2.08	2.72	2 9	0.4	2.1	2.4
6 0		2.01	2.64	3 0	0.4	2.1	2.4
6 1		1.9	2.55	R元	0.4	2.1	2.4
6 2		1.9	2.5	2	0.4	2.45	2.45
6 3		1.9	2.5	3		2.45	2.45
H元		1.9	2.5	4		2.45	2.45
2		2.2	2.6	5		2.45	2.45

※平成2年6月期からは、報酬の月額及び報酬の月額に20%を乗じて得た金額の合計に、それぞれの割合を乗じた額

(8) 議会事務局組織

(令和5年12月31日現在)

正規職員 17人 会計年度任用職員 1人



町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する要綱

平成元年12月1日制定
平成2年2月1日改正

この要綱は、「町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する決議」（平成元年12月1日決議）に基づき、公職選挙法の規定にかかわらず、すべてにわたり清潔な政治活動を行うことにより市民の信託に応えるために制定するものである。

記

1. 企業・団体からの金品等の寄附は受けない。
2. 資金集めを目的としたパーティー・事業等を行わない。
3. 町内会・自治会、その他市の財政援助団体並びに公的行事への金品等の提供及び祝電・弔電を行わない。
4. 新聞等への個人名刺広告の掲載を行わない。
5. 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）は廃止する。

附 則

この要綱は、平成元年12月1日から適用する。

議 会 年 報

— 令和5年議会活動状況 —

発行 令和6年3月

編集 町田市議会事務局

所在地 町田市森野2-2-22

電話 (042)724-2171 (直)

刊行物番号 23-81

印刷 [市内印刷]
